

保証書(持込修理)

本書は、本書記載内容(下記規定)で、無料修理を行うことを、お約束するものです。
保証期間中に、正常なご使用状態で、故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

品 番 CR990si	
S/No.	
お買い上げ日	年 月 日 お買い上げ年月日の記載がない場合、無料修理規定外となります。
保証期間	対象部分 機器本体(電池等の消耗部品は除く) お買い上げの日から1年
お客様 お名前 ご住所 TEL()	様 上欄に記入または捺印の無い場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。

<無料修理規定>

1. 本書記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本体及び本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、最寄りの弊社営業所・サービス部へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
 - (ニ) 特殊な条件下等、通常以外の使用による故障及び損傷
 - (ホ) 故障の原因が本製品以外にある場合
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合
 - (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (チ) 付属品や消耗品等の消耗による交換

5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

故障内容記入欄

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。

株式会社 ユピテル

〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33



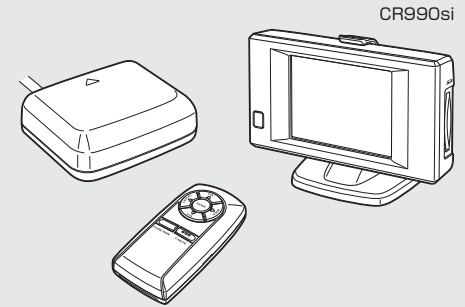
セパレート型 GPS&レーダー探知機

CR990si

取扱説明書

12V車専用 ダウンロード対応

このたびは、スーパーキャットのレーダー探知機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本機は、スピード取締り機の前もってお知らせする受信機です。



CR990si

目次

はじめに

安全上のご注意	2
使用上のご注意	4
各部の名称と働き	6
取り付けかた	8
アンテナの取り付けかた	12
電源について	13
リモコンについて	15
基本的な使いかた	16
便利な機能について	17
表示内容	18
エコドライブモニターについて	21
ダブルレーダースコープについて	22

使いかた

レーダー編	
レーダー波受信時の動作について(レーダーアラーム)	24
レーダー波3識別(IDSP)について	25

GPS 編

GPS 測位機能について	26
GPS28 識別について	27
警告させたい地点を登録する	32
レーダー警報をキャンセルしたい地点を登録する	33

無線編

17バンド受信機能について	34
---------------	----

設定編

最適モード選択機能について	38
各種設定のしかた	41
設定メニューのフローチャート	42
「レーダー」の設定項目について	44
「GPS」の設定項目について	48
「無線」の設定項目について	54
「レーダースコープ設定」の設定項目について	58
「設定」の各項目について	59

ity.

ity. ダウンロード機能	61
ity. MAPサービス	67
今すぐ地図表示サービス	68
地図閲覧サービス	69
ログ機能	72

その他

取締りのミニ知識	73
取締りレーダー波を受信しにくい場合	74
仕様	75
故障かな?と思ったら	76
アフターサービスについて	78
保証書	裏表紙

- ・レーダー波を発射しない光電管式やステルス型取締りなどの場合、事前に探知することができませんので、あらかじめご了承ください。
- ・本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用する方への危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、次の表示で区分し、説明しています。

●本体、シガープラグコードについて

⚠警告



水をつけたり、水をかけない。また、ぬれた手で操作しない…火災や感電、故障の原因となります。



穴やすき間にピンや針金などの金属を入れない…感電や故障の原因となります。



機器本体および付属品を改造しない…火災や感電、故障の原因となります。



サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しない…感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。



煙が出ている、変な臭いがするなど、異常な状態のまま使用しない…発火の恐れがあります。すぐにシガープラグを抜いて、販売店に修理をご依頼ください。



表示された電源電圧車以外では使用しない…火災や感電、故障の原因となります。また、ソケットの極性にご注意ください。本機はマイナスアース車専用です。



ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品を使用して拭かない…本体を傷めます。



万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する…そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。

●シガープラグコード接続時

⚠警告



電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、加工しない。また、電源コードが傷んだら使用しない…感電やショートによる発火の原因となります。



シガープラグは確実に差し込む…接触不良を起こして火災の原因となります。



ぬれた手でシガープラグの抜き差しをしない…火災や感電、故障の原因となります。



シガーライターソケットやシガープラグの汚れはよく拭く…接触不良を起こして火災の原因となります。



シガーライターソケットは単独で使う…タコ足配線や分岐して接続すると、異常加熱や発火の原因となります。



万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する…そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。

⚠注意



シガープラグコードを抜くときは、電源コードを引っ張らない…コードに傷がついて、感電やショートによる発火の原因となります。必ずシガープラグを持って抜いてください。



お手入れの際は、シガープラグを抜く…感電の原因となります。



警告：この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意：この表示は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

絵表示について



この記号は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。



この記号は、してはいけない「禁止」内容です。



この記号は、必ず実行していただく「強制」内容です。



この記号は、関連するページを示します。

●取り付けについて

⚠警告



取り付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また、自動車の機能（ブレーキ、ハンドル等）の妨げにならない場所に取り付ける…誤った取り付けは、交通事故の原因となります。



バッテリーに直接接続しない…火災や感電、故障の原因となります。



エアバッグの近くに取り付けたり、配線をしない…万一のとき動作したエアバッグで本体が飛ばされ、事故やケガの原因となります。また、シガープラグ使用時に配線が妨げとなり、エアバッグが正常に動作しないことがあります。

⚠注意



取り付けは確実に行う…落ちたりして、ケガの原因となります。



突起部分などでケガをする恐れがありますので、取り付けや取り外しの際はご注意ください。

●使用について

⚠警告



運転中は絶対に操作しない…わき見運転は重大事故の原因となります。また、設定は停車中に、パーキングブレーキを確実にかけた状態で行ってください。



警報したときに慌ててブレーキをかけたりしない…走行中に急ブレーキをかけたりすると大変危険です。



医用電器機の近くでは使用しない…植え込み型心臓ペースメーカーや、その他の医用電器機に電波による影響を与える恐れがあります。

⚠注意



車から離れるときは、電源を切る…エンジンを止めても、シガーライターソケットに、常時電源が供給される車種がありますので、ご使用にならないときはシガープラグを抜いてください。



本機は日本国内仕様です。海外ではご使用にならないでください。

■本機を使用中の違反に関しては、一切の責任を負いかねます。日頃からの安全運転をお心がけください。

■電波の透過率が低いガラス(金属コーティングの断熱ガラスなど)の場合、電波が受信しにくくなり、GPS測位機能(● 26ページ)が働かない場合や、取締りレーダー波の探知距離が短くなる場合があります。

液晶表示部

- 表示部を強く押したり、衝撃を与えないでください。表示部の故障や破損でケガの原因となります。
- サングラスを使用時、偏光特性により、表示が見えなくなることがあります。あらかじめご了承ください。

シガープラグコードに関する注意

- シガープラグコードは、必ず付属のものをご使用ください。
- シガープラグ内部のヒューズが切れた場合は、市販の新しいヒューズ(1A)と交換してください。また、交換してもすぐにヒューズが切れる場合は、使用を中止し、シガープラグを抜いて、お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。
- シガープラグ内部には、ヒューズとスプリングが入っています。ヒューズ交換の際は、部品の紛失に注意してください。

レーダーアラーム(● 24ページ)に関する注意

- 走行環境や測定条件などにより、取締りレーダー波の探知距離が変わることがあります。
- 狙い撃ちの取締り機(ステルス型取締り機)は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間に合わない場合があります。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。(● 25ページ)

- レーダー波を使用しない速度取締り(光電管式など)の場合、事前に検知することができませんので、あらかじめご了承ください。

GPS測位機能(● 26ページ)に関する注意

- 本機を初めてご使用になる場合は、GPS測位が完了するまで20分以上時間がかかる場合があります。
- 走行速度や進行角度、距離などの表示は、GPSの電波のみで計測しています。
GPS測位状況によって、実際とは大きく異なる場合があります。
- 車載TVをUHF56チャンネルに設定していると、GPS測位できない場合があります。UHF56チャンネル受信周波数が障害電波となり、GPS受信に悪影響を与えるためです。
- 新たに設置されたオービスなどのターゲットは、GPS警報できませんのであらかじめご了承ください。
- GPS警報の左右方向識別ボイス(● 31ページ)は、告知時点でのターゲット方向であり、右車線、左車線を示す訳ではありません。

無線14バンド受信機能(● 34ページ)に関する注意

- カーオーディオやカーナビ、カーエアコン、ワイパー、電動ミラーなどのモーターノイズにより、反応する場合があります。あらかじめご了承ください。
- 本機は、受信した音声を聞くことができる交信音声受信機能(復調)を搭載しておりますが、デジタル方式や、デジタル信号での通信は、受信しても内容はわかりません。また、各無線交信は、数秒間で終わることが多いため、交信内容を完全に聞き取ることができない場合があります。
- カーロケーターシステムは、全国的に新システムへの移行が進んでいます。現在は受信可能な地域であっても今後、新システムへの移行により受信できなくなる場合

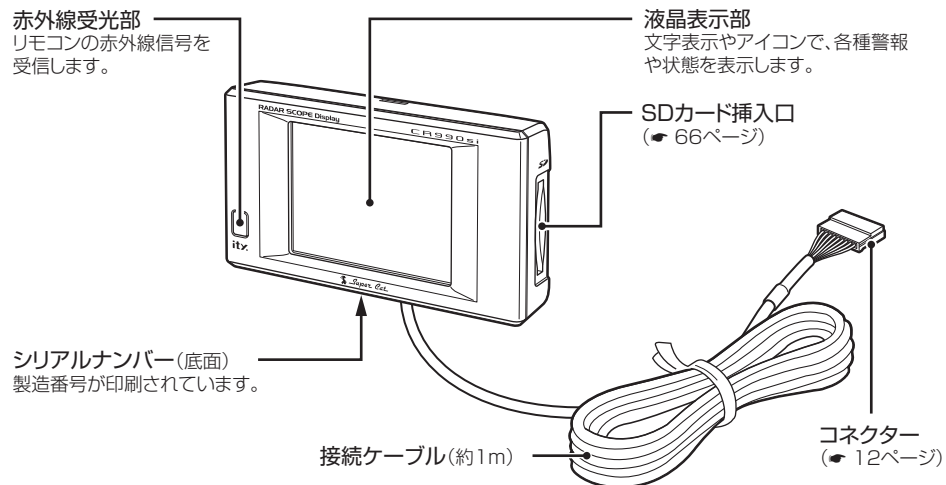
がありますので、あらかじめご了承ください。
新システムが導入された地域や、新システムに移行した場合、カーロケ無線の警報や、ベストパートナー6識別(● 36ページ)は、働きません。

画面表示に関する注意

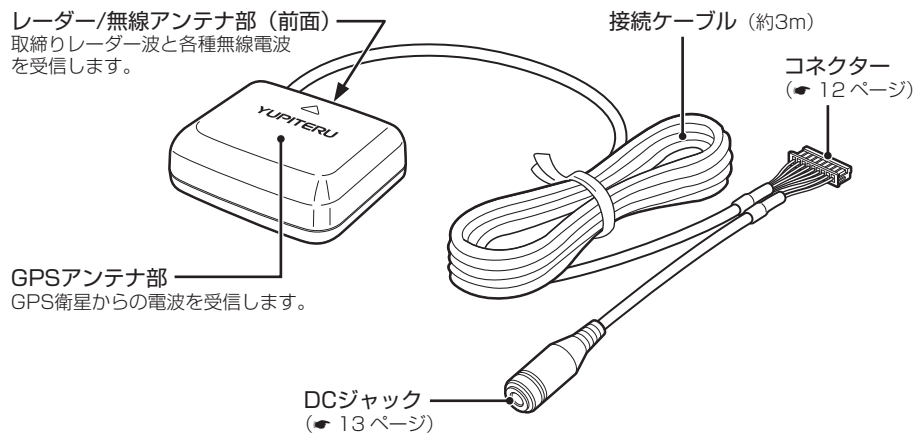
- 表示内容は、実際と異なったり、変更になる場合があります。
- アイコン表示(● 18ページ)はGPS測位状況や各種設定状況により異なります。
- GPS測位が完了するまでは、「測位情報」を表示し、GPS測位すると設定した待受画面を表示します。
- 日付および時間は、GPS測位により自動的に設定され、日付や時間合わせの操作は不要です。(測位状況により日付や時間が合わないことがあります。)
- 時間の表示は、12時間表示です。24時間表示に変更することはできません。
- 走行速度や進行角度、距離などの表示は、GPSの電波で計測しており、補正機能はございません。
GPS測位状況によって、実際とは大きく異なる場合がありますので、目安程度にお考えください。
なお、車輛の速度計は、実際より数値が高く表示される(プラス誤差)傾向があります。
- 渋滞や低速走行時(発進直後を含む)は、速度表示を正しく表示しないことがあります。

各部の名称と働き

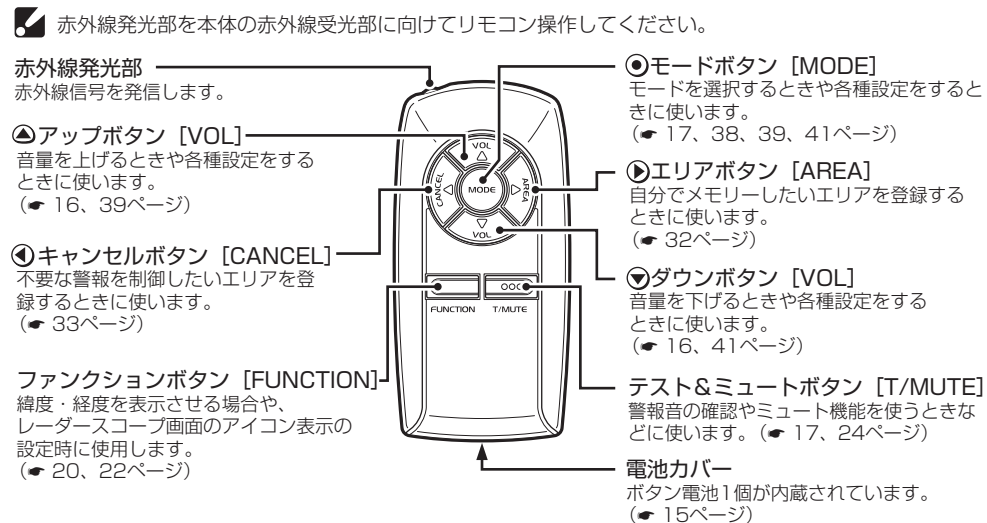
表示部付き本体



アンテナ

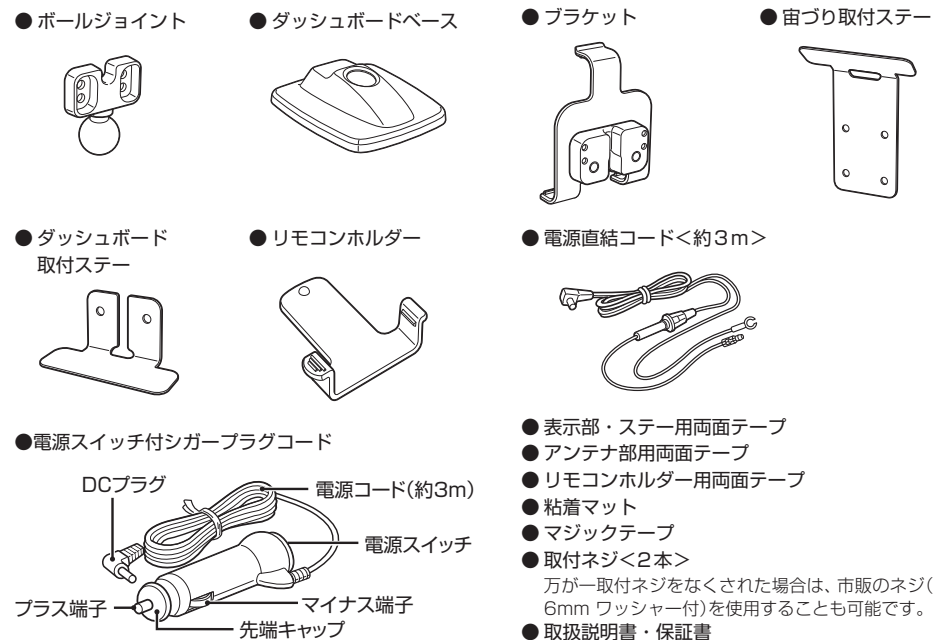


リモコン



付属品

ご使用前に付属品をお確かめください。





本機は、自由自在な角度調整が行えるボールジョイント方式のブラケットを採用しています。
また、国土交通省の保安基準改正によるフロントガラスの取り付け規制に伴い、新素材の粘着マット
を採用し、ダッシュボードへの取り付けをスマートにしました。

粘着マットについて

強力な粘着力により、ダッシュボードに安定し
て設置できます。はがしても跡が残りにくいのが
特長です。

粘着マットの上手な使いかた

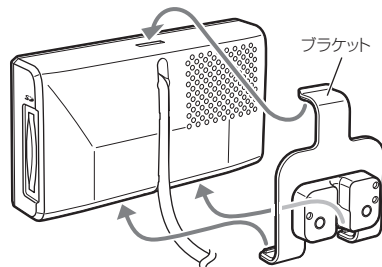
- 貼る場所の表面に、ホコリや汚れがないことを
確認してください。
- 貼り付ける側の保護シートをはがし、しっかり
貼り付けてください。
- できるだけ水平に近い平坦な場所に取り付けて
ください。
- ホコリや汚れなどで粘着力が弱くなった場合は、
中性洗剤を使い水洗いすると粘着力が復元しま
す。

※ 粘着マットで安定した取り付けができない場合は、
同梱のマジックテープを使用するか、市販の強力型
両面テープ(厚さ2mm以上)を使用し、固定してく
ださい。
まれに、ダッシュボードが変色・変形(跡が残る)す
ることがありますが、あらかじめご了承ください。

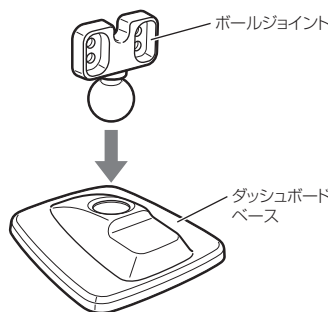
車輻への取り付け

ベースで取り付け

1 表示部付き本体の接続ケーブルをブラ ケットの溝に通し、表示部付き本体を 固定する

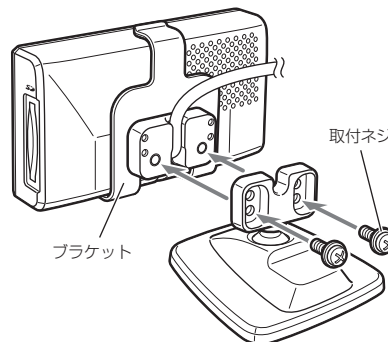


2 ダッシュボードベースとボールジョイ ントを取り付ける



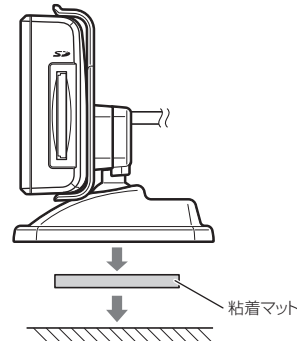
ベースで取り付ける

3 ブラケットとボールジョイントを、取 付ネジを使って取り付ける



- 取付ネジはなくさないようご注意ください。
万が一なくされた場合は、市販のネジ(M3×
6mm ワッシャー付)を使用することも可能で
す。

4 ダッシュボードベースに粘着マットを 貼り付け、ダッシュボードに取り付け る

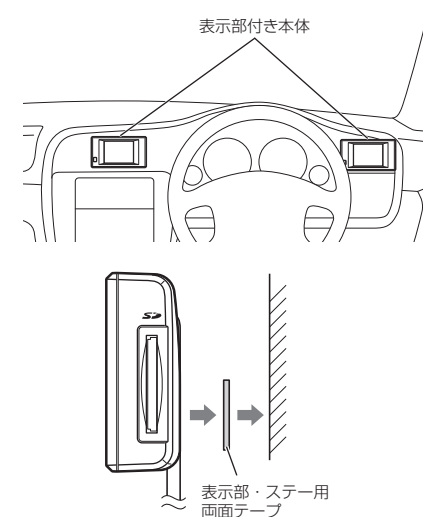


- 貼る場所の表面に、ホコリや汚れがないことを
確認してください。
- ダッシュボードから外す場合は、ダッシュボ
ードベースを持って、ゆっくりと行ってください。
本体やブラケット上部を持つと、破損の原因と
なります。

両面テープで取り付ける(直付け)

付属の両面テープで、表示部付き本体を貼 り付ける

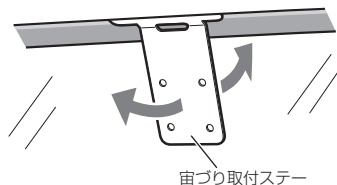
下記のイラストを参考に、見やすい場所に貼り
付けてください。



- あらかじめ、貼る場所のチリや汚れ、脂分をよく落
としたあと、慎重に行ってください。貼り直しは、
テープの接着力を弱め、脱落する恐れがあります。
- 水がかかったり、熱風が当たる場所には、取り付
けないでください。
- 表示部付き本体あるいはコードが、ドアの開閉部な
どにあたったりはさせないようにしてください。

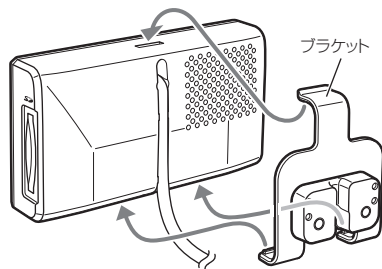
宙づり取付ステーで取り付ける(宙づり)

- 1 あらかじめ貼付場所を決めて、見やすい角度になるようにブラケットを折り曲げて、角度の調整をする

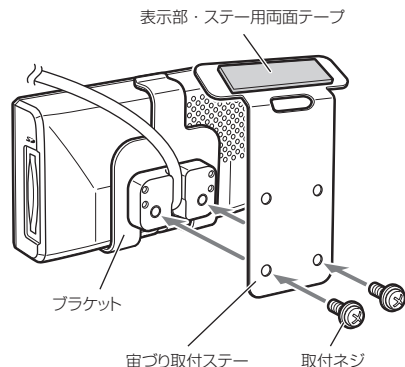


※ブラケットを折り曲げるときは、一旦、表示部付き本体からはずして調整してください。そのまま折り曲げると、表示部付き本体の破損の原因となります。

- 2 表示部付き本体の接続ケーブルをブラケットの溝に通し、表示部付き本体を固定する

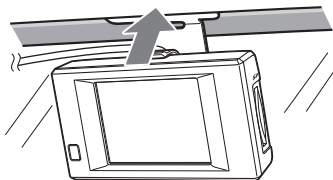


- 3 ブラケットと宙づり取付ステーを、取付ネジを使って取り付ける



- 取付ネジはなくさないようご注意ください。万が一なくされた場合は、市販のネジ(M3×6mm ワッシャー付)を使用することも可能です。

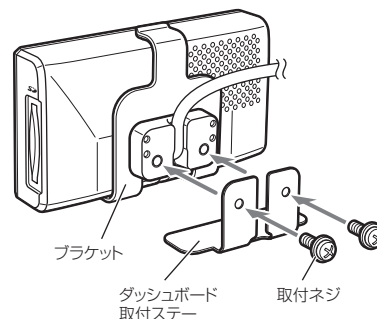
- 4 宙づり取付ステーに付属の両面テープを貼り付け、フロントガラスと天井のすき間に差し込み、フロントガラスの黒縁部分に両面テープを押し当てながら、貼り付ける



- 黒縁部分からはみ出さないように貼り付けます。黒縁のない車種に取り付ける場合は、ダッシュボードなどに表示部付き本体を取り付けてください。

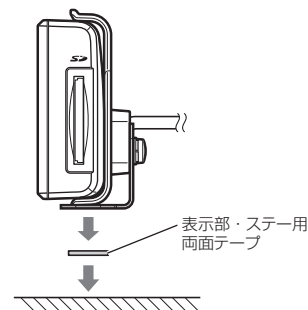
ダッシュボード取付ステーで取り付ける(直づけ)

- 1 ブラケットとダッシュボード取付ステーを、取付ネジを使って取り付ける

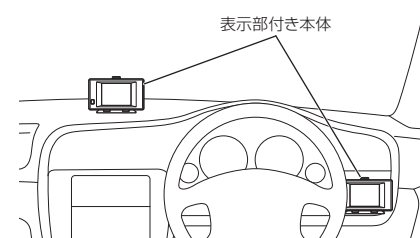


- 取付ネジはなくさないようご注意ください。万が一なくされた場合は、市販のネジ(M3×6mm ワッシャー付)を使用することも可能です。

- 2 ダッシュボード取付ステーに付属の両面テープを貼り付ける



- 3 ダッシュボードやメータ付近などに貼り付ける

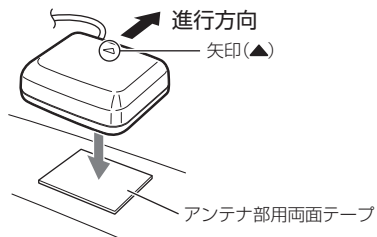


- あらかじめ、貼る場所のチリや汚れ、脂分をよく落としたあと、慎重に行ってください。貼り直しは、テープの接着力を弱め、脱落する恐れがあります。
- 水がかかったり、熱風が当たる場所には、取り付けしないでください。
- 表示部付き本体あるいはコードが、ドアの開閉部などにあたったりはさせないようにしてください。

アンテナの取り付けかた

ダッシュボードに取り付ける

付属の両面テープで貼り付け、アンテナが道路に対して水平に、また矢印(▲)が進行方向(前方)に向くように、角度を調整する

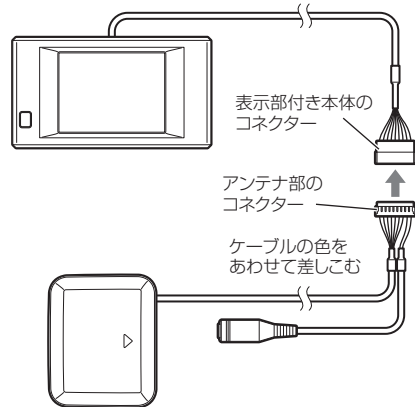


- GPSの電波を受信しやすい場所に取り付けてください。
- GPSアンテナの上やレーダー/無線アンテナ部の前に他の機器のアンテナや、金属などの障害物がこないような場所に取り付けてください。
- あらかじめ、貼る場所のチリや汚れ、脂分をよく落としたあと、慎重に行ってください。貼り直しは、テープの接着力を弱め、脱落する恐れがあります。
- 水がかかったり、熱風が当たる場所には、取り付けないでください。
- アンテナあるいはコードが、ドアの開閉部などに当たったりはさまれないようにしてください。

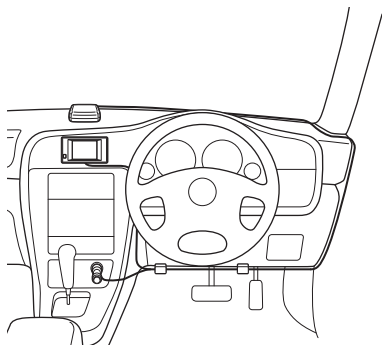
※ 防水構造でないため、ルーフなどの車外に設置することはできません。

コネクタの接続

1 アンテナ部のコネクタを表示部付き本体のコネクタに差し込む



2 ケーブルをきれいに配線する



電源について

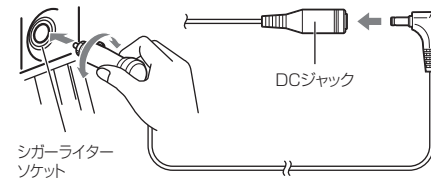
つづく

付属の電源スイッチ付シガープラグコードを、DCジャックと車のシガーライターソケットに差し込む

シガープラグは、2～3回左右にひねりながら差し込みます。

- シガープラグコードは、必ず付属のものをご使用ください。
- シガープラグ内部のヒューズが切れた場合は、同じ容量(1A)の新しいヒューズと交換してください。
- 一部の車種においては、シガープラグの形状が合わないことがあります。その場合は、付属の電源直結コードを使用してください。

必ず表示部付き本体とアンテナ部を接続ケーブルに接続した後で、シガープラグコードを接続してください。



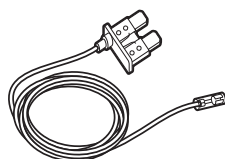
はじめに

電源直結コードの使いかた

シガーライターソケットを使わず、ヒューズボックスから電源をとることができます。平型ヒューズタイプの電源取り出しコード(市販品)をお買い求めいただき、次のように接続してください。

※平型ヒューズにはノーマルサイズとミニサイズがあります。あらかじめ、ヒューズボックス内のヒューズのサイズと容量をご確認のうえ、お買い求めください。

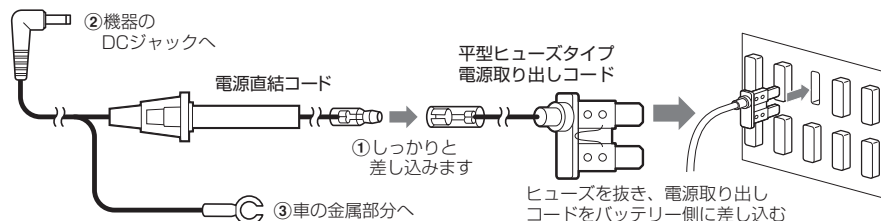
■平型ヒューズタイプ
電源取り出しコード
(市販品)



接続方法

- 作業中のショート事故防止のため、接続前に必ず車のバッテリーのマイナス端子をはずしてください。
- 平型ヒューズ取り付け時には、付属の取扱説明書をよくお読みになり、接続手順や注意事項などを守ってください。

必ず、エンジンキーのACC ON/OFF操作と連動してON/OFFする回路(カーラジオなど)のヒューズと差し替えてください。



ヒューズの交換

- 接続状態でエンジンをかけても、機器の電源が入らない場合は、接続コード類がはずれていないこと、ヒューズホルダー内のヒューズが切れていないことを確認してください。(合わせて、平型ヒューズのヒューズが切れていないか確認してください)

- 図のようにヒューズホルダーを押しながら左に回してはずし、元に戻すときは、押しつけながら右に回してください。

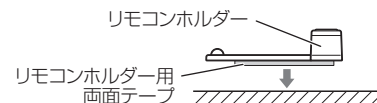


リモコンの取り付け

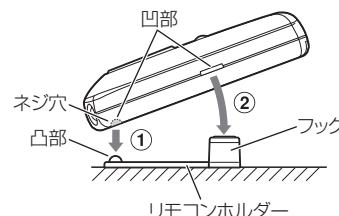
リモコンを、手に取りやすい決まった場所に両面テープで貼り付けておくこともできます。

① リモコンホルダーを、付属の両面テープで手に取りやすい場所に貼り付ける

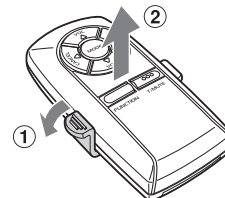
- あらかじめ、貼る場所のホコリや汚れ、脂分をよく落としたあと、慎重に行ってください。貼り直しは、テープの接着力を弱めます。



② リモコンを固定するときは、ホルダーの凸部にリモコンのネジ穴を合わせてから、『カチッ』と音がするまで押し込む



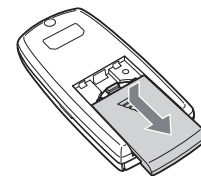
③ リモコンを取り出すときは、リモコンホルダーのフックを軽く広げながら、取り出す



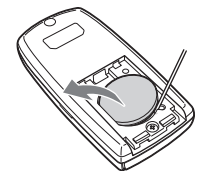
- 赤外線発光部を本体の赤外線受光部に向けてリモコン操作してください。

リモコンの電池交換

① 電池カバーを開ける

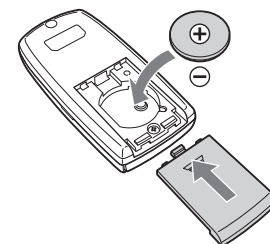


② 古い電池を取り出す



③ 新しい電池を入れ、電池カバーを閉じる

- 電池の向きに十分注意してください。



リモコンの電池交換について

- リモコンにはボタン電池(CR2032)が内蔵されています。リモコン操作がしにくくなったら、電池寿命です。市販の新しいものと交換してください。
- 電池は、CR2032以外は使用しないでください。
- 寿命の目安としては、1日50回程度の使用で約1年間ですが、1年以内でも消耗することがあります。

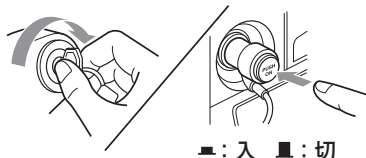
⚠警告

- 使用済みの電池は、火中に入れないでください。爆発して、火災・やけどの原因となることがあります。また、事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

1 電源を入れる

車のエンジンを始動し、シガープラグの電源スイッチを押します。

『ピピ』と音が鳴り、オープニング表示します。



【オープニング表示】

- マナーモードのときは、音は鳴らずにマナーモード表示を約2秒間表示します。

電源が入ると、「GPS測位機能」(26ページ)が働き、GPSの電波を受信すると、待受画面が表示されます。



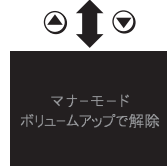
『ポーン
測位しました』

※初期値は「時計」に設定されています。

2 音量を調節する

▲アップ/▼ダウンボタンで調節できます。
『ピッ』という確認音を聞きながら調節します。

最大音量からさらに▲を押すと「ブツ」と鳴ります。



【マナーモード表示】

音量「0」からさらに▼を押すと「マナーモード」になります。解除するときは▲を押します。

マナーモードについて

音量調整時、音量「0」の状態からさらに▼を押すと「マナーモード」になり、マナーモード表示を約2秒間したあと、液晶表示が消えます。
GPSターゲットやレーダー波などの各種警報(音や表示)も行われません。

- マナーモードは、▲を押すと解除でき、他のボタンを押すとマナーモード表示となります。

3 すべての機能を使ってみる

- オールオンモードを選ぶ
- モードボタンを押して、オールオンモードを選択します。



※オールオンモードの設定内容については、「最適モード選択機能について」(38ページ)をご覧ください。

GPSターゲットに近づくとき…



『ジャン 500m先
ループコイルです』

デジタル無線を受信するとき…



『ピロローン
ピロローン
デジタル無線です』

ステルス波を受信するとき…

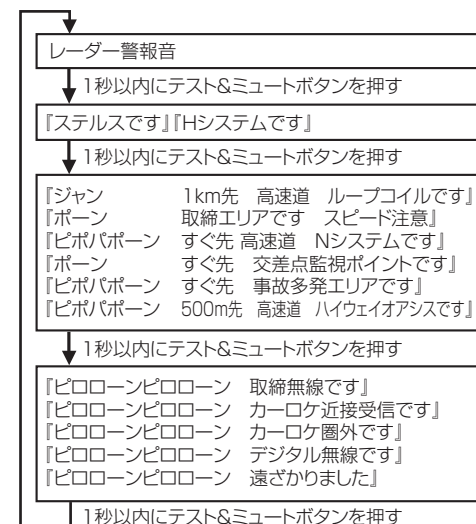


『ピロピロピロ…
ステルスです
ステルスです』

テストモード

テスト&ミュートボタンを押している間はテストモードとなり、レーダー警報音(電子音、メロディ、ボイス、クワイアットボイスのいずれか)を確認することができます。

いったんテスト&ミュートボタンを放し、1秒以内に再度押し続けると、次の手順で他の警報音などを確認できます。



お知らせボイス

最適モード選択機能(38ページ)のモードを選択する場合など、ボイスでお知らせします。

2.4 インチの液晶画面にレーダー・GPS・無線の警報や告知を表示します。

アイコン表示について

1 2 3 4 5 6 7 8



フレックスディマー

夜間は、液晶表示の明るさを抑え、眩しさを防ぎます。

GPSの時刻情報により、それぞれの地域および季節に応じて自動的に液晶表示の明るさを調整します。

表示名	アイコン	表示の意味
1 方位磁針表示		赤色の針が北方向を指します。(非測位時や停車状態のままでは青色の針で動きません)
2 道路選択表示		一般道のGPSターゲットを警報します。
		高速道のGPSターゲットを警報します。
		一般道、高速道(全て)のGPSターゲットを警報します。
3 駐車禁止監視エリア表示		駐車禁止監視エリア内に表示します。(☛ 53 ページ)
4 カーロケ近接受信表示		カーロケ無線の近接受信時と圏内判定中に点滅表示します。(☛ 34、37 ページ)
5 ミュート表示		ミュート機能が作動中に表示します。(☛ 24 ページ)
6 レーダー受信感度モード表示		AACモードのON/OFFおよびレーダー受信感度等を表示します。(☛ 45 ページ)
7 ローカル/ドライブ/オールオンモード表示		設定しているモードを表示します。(☛ 38 ページ)
8 GPS 測位表示		GPS測位中は消灯し、非測位時は点滅します。(☛ 26 ページ)

・液晶表示内容は、実際と異なったり、変更になる場合があります。

GPSも、無線も、レーダーも、液晶表示とボイスのダブルで警報します。

- ・GPS 28 識別
- ・無線 14 バンド識別
- ・ベストパートナー 6 識別
- ・レーダー波 3 識別

ターゲット 51 識別

主な表示例は、次のとおりです。

メッセージ表示例

待受画面

待受画面(☛ 59 ページ)の設定で変更可

- ・日付および時間は、GPS測位により自動的に設定され、日付や時間合わせの操作は不要です。(測位状況により日付や時間が合わないことがあります。)
- ・時間の表示は、12 時間表示です。

時計

時間、年月日、曜日、六曜、走行速度、月齢、進行角度、緯度・経度を表示



速度

走行速度、年月日、曜日、六曜、時間、月齢、進行角度、緯度・経度を表示



カレンダー1

年月日、曜日、六曜、時間、走行速度、月齢、緯度・経度を表示



- ・進行角度は、北(0°)に対しての角度表示です。
- ・走行速度や進行角度、緯度・経度の表示は、GPS測位状況により実際とは大きく異なる場合がありますので、目安程度にお考えください。

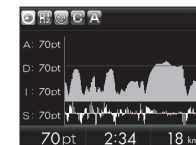
カレンダー2

月日、曜日、六曜、時間、走行速度、月齢、緯度・経度を表示



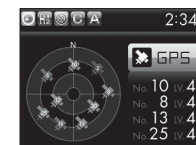
エコドライブ

エコドライブの評価を採点表示
詳しくは、「エコドライブモニター」(☛ 21 ページ)をご覧ください。



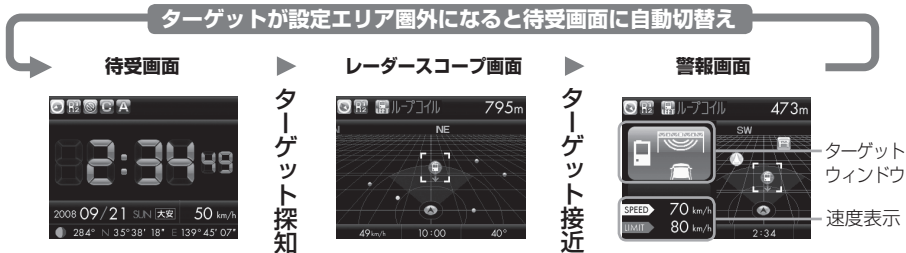
測位情報

衛星位置、衛星ナンバー、受信レベルを表示



※衛星ナンバーとは、衛星に割り当てられたナンバーです。

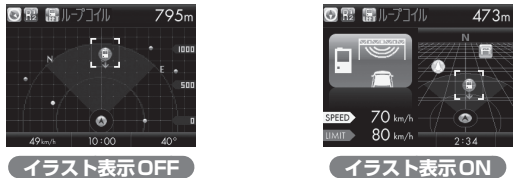
インテリジェントアラーム



- 警報画面のターゲットウィンドウは、緊急度の高い順に、赤、黄、緑、青の4色に識別して表示します。
[4色識別ターゲット表示]
- オービス(ループコイル/LHシステム/新Hシステム/レーダー式オービス)以外の警報画面では、速度表示は走行速度(SPEED)のみで、制限速度(LIMIT)は表示しません。

警報イラスト挿入

警報イラスト挿入(☛ 58 ページ)の設定により、警報時のイラストのON/OFFが可能です。

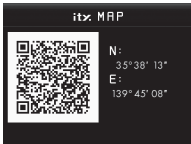


緯度・経度について

緯度・経度を表示させ、itx.MAPサービス(☛ 68、69 ページ)をご活用いただけます。

○表示方法

ファンクションボタンを長押し(約1秒)する。

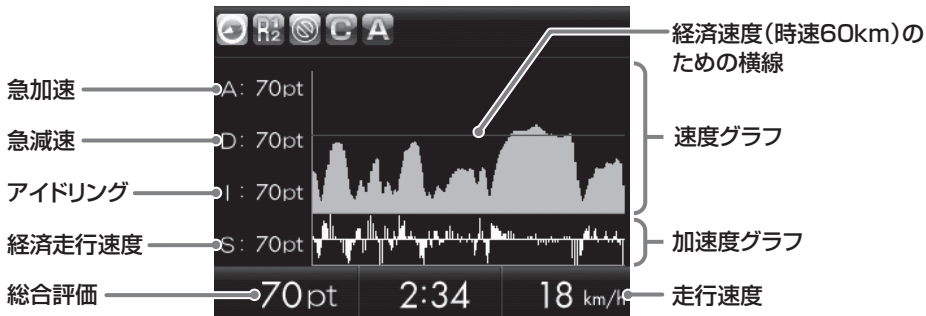


必ず、車を止めてから操作してください。

- 液晶表示部にQRコードと緯度(N)・経度(E)を約1分間表示します。
- 表示中は、移動しても緯度・経度は変わりません。
- GPS非測位のときは、緯度・経度は表示できません。
- 戻るときは、再度、ファンクションボタンを長押し(約1秒)してください。

エコドライブモニターについて (特許出願中)

GPSの電波を受信して得られる速度データをもとに、A:(急加速)、D:(急減速)、I:(アイドリング)、S:(経済速度)の4項目から総合評価します。
エコドライブモニターは、待受画面を「エコドライブ」に設定すると表示されます。(☛ 59 ページ) 環境や経済走行の目安としてご使用ください。



A(急加速のポイント)	急加速と判断すると減点します。(初期値: 70pt)
D(急減速のポイント)	急ブレーキなどによる急減速と判断すると減点します。(初期値: 70pt)
I(アイドリング時間のポイント)	エンジン始動後、停車している時間が長いとその時間分減点します。(初期値: 70pt)
S(経済速度のポイント)	時速60km前後で走ると得点、高速、低速で走行すると減点します。 制限速度が100km/hの高速道路で、60km/h以上の高速走行や渋滞などによる60km/h以下の低速走行も減点となります。(初期値: 70pt) ※実際の交通規制にしたがって走行してください。
総合評価のポイント	「A(急加速のポイント)」「D(急減速のポイント)」「I(アイドリング時間のポイント)」「S(経済速度のポイント)」の各ポイントの平均を算出します。

- GPS測位できない場合は、各項目の採点は行いません。
- 採点表示は、「データ消去」(☛ 60 ページ)を行うとリセットされます。(各項目のリセットの値は70ptで、項目別にはリセットすることはできません。)
- 各項目の採点表示(pt)は、上限100pt、下限0ptです。
- 速度グラフと加速度グラフの表示は、電源をOFFにするとリセットされます。
- エコドライブモニターは、GPSの電波を受信して得られる速度データをもとに評価するものであり、実際に燃費が向上するわけではありません。目安程度にお考えください。

ダブルレーダースコープについて (特許出願中)

GPSデータ登録されているオービスなど最大100のターゲットを3D/2D表示することができます。
(最大2000mの範囲)
お好みに応じて3D表示(立体的なレーダースコープ画面)の設定をON(3D)/OFF(2D)することができます。(➡ 58ページ)

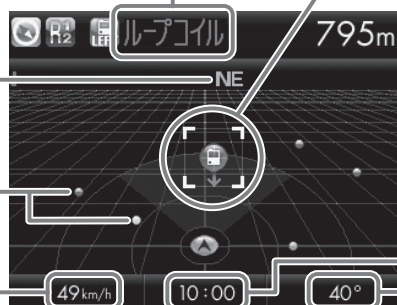
レーダースコープ画面について

フォーカスアイコンの ターゲット情報

方位
N(北)、NE(北東)、E(東)、SE
(南東)、S(南)、SW(南西)、W
(西)、NW(北西)で表示します。

警報対象アイコン
警報の対象となるターゲット
を表示します。

自車速度
車の走行速度を表示します。



3D表示「ON」

フォーカスアイコン

警報中のターゲットなどを
自動ロックオンし、警報対象
アイコンを四角の枠で囲ん
だ表示をします。
(自動ロックオン：緊急度の
高いターゲット1つに絞り、
警報範囲外になるまで自動
で追尾します)

時計
時計を表示します。

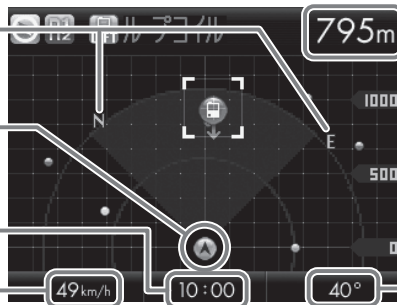
進行方向
北を0°として進行方向を
表示します。

方位
N(北)、E(東)、W(西)、
S(南)で表示します。

自車アイコン
車輛の進行方向を示す
アイコンです。

時計
時計を表示します。

自車速度
車の走行速度を表示します。



3D表示「OFF」

**フォーカスアイコンの
ターゲットまでの距離**

スケール
レーダースコープ画面で表
示できる範囲で500m、
1000m、2000mの3段
階に切替わります。

進行方向
北を0°として進行方向を
表示します。

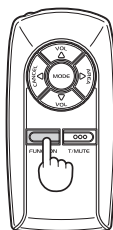
※ フォーカスアイコンのターゲットがループコイル、LHシステム、新Hシステム、レーダー式オービス、取締エリア、検問エリア、Nシステム、交通監視システムの場合は、設置されている方向を矢印で表示します。

アイコン表示を設定する

警報対象アイコンの表示をON/OFFできます。
ファンクションボタンを押すことで変更できます。

※ アイコン表示の設定からも変更可能です。(➡ 58ページ)

※ フォーカスアイコンは、アイコン表示をOFFに設定している場合もON表示します。



アイコン表示について

警報対象アイコンとフォーカスアイコンのターゲットは色で識別されます。

色	ターゲット	アイコン表示 ON	アイコン表示 OFF
赤色	ループコイル		
	LHシステム		
	新Hシステム		
	レーダー式オービス		
黄色	取締エリア		
	検問エリア		
	マイエリア		
緑色	事故多発エリア		
	Nシステム		
	交通監視システム		
	交差点監視ポイント		
	信号無視抑止システム		
青色	マイキャンセルエリア		
	警察署		
	駐車場		
	道の駅		
	サービスエリア		
	パーキングエリア		
	ハイウェイオアシス		
	ハイウェイラジオ受信エリア		

レーダー波受信時の動作について(レーダーアラーム)

本機は、Wアラーム方式と接近テンポアップシステムの採用により、取締りレーダー波の存在をより確実に伝えていきます。[レーダーアラーム]

Wアラーム

音(電子音/メロディ/ボイス/クワイアットボイス)と液晶のダブルで警報します。

後方受信

iDSPによる超高精度識別およびスーパーエクストラモードの超高感度受信により、後方からの取締りレーダー波もシッカリ受信します。

接近テンポアップ

取締りレーダー波発信源への接近(電波の強弱)にあわせて変化します。

取締りレーダー波 発信源との距離	
電子音アラーム	断続音から連続音に変化します。
液晶	受信レベルが変化します。

- 電子音以外はテンポアップしません。
- レーダー波の受信が約30秒以上続くと、警報音が小さくなります。(オートクワイアット機能)

オートクワイアット

レーダー波の受信が約30秒以上続くと、自動的に音量が小さくなります。

ミュート機能

●取締りレーダー波の発信源の確認ができれば警報中にテスト&ミュートボタンを押すと、受信中の電波がなくなるまで、警報音を一時的に消すことができます。

レーダー波3識別(iDSP)について

本機は、iDSP/統合的デジタル信号処理技術(Integrated Digital Signal Processing-Technology)により、ステルス型取締り機の「一瞬で強い電波」に対しては、ただ単に警報するだけでなく、通常波と区別して液晶とボイスのダブルでお知らせします。さらに、インテリジェントキャンセル(☛ 46ページ)により取締り波かどうかを識別し、誤警報を抑えます。

1 ステルス波



2 通常レーダー波



3 I (インテリジェント)キャンセル告知



- レーダースコープ画面におけるターゲット表示とレーダー波の発信元とは無関係です。
- 新Hシステムの断続的なレーダー波を受信した際も、通常のレーダー波と同じ警報となります。

ボイス識別

ステルス型取締り機について

他の取締り機と同じ電波を使用していますが、事前に探知(受信)されないようにするため、待機中は電波を発射せず、必要なときに短時間強い電波を発射して速度の測定ができる狙い撃ち方式の取締り機です。

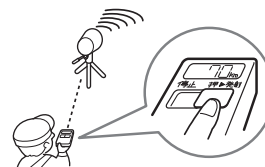
- ステルス型取締り機は、計測する瞬間だけ電波を発射するため、受信できなかったり、警報が間に合わない場合があります。また、取締りには電波を使用しない光電管式などもありますので、先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
- 通常の電波を受信した場合でも、周囲の状況などにより、ステルス波を識別警報することがあります。
- ステルス型取締り機の電波を受信するとボイスでステルス波を識別警報します。

＜ステルス波を受信したとき＞

受信

ピロピロピロ…
(クワイアットボイス
選択時は「ピンポーン」)
『ステルスです
ステルスです』

『ステルスです』と警報した後は、通常の警報音(メロディ、ボイス、クワイアットボイス、電子音)の警報になります。





GPS測位機能について

GPS(Global Positioning System)とは、衛星軌道上の人工衛星から発信される電波により、緯度・経度を測定するシステムです。

カーナビでお馴染みのこのシステムを利用して、取締りレーダー波を発射しないループコイル式、LHシステムのオービス(無人式自動速度取締り装置)にも警報します。

また、固定設置式のオービスだけでなく、交通監視システムやNシステム、そして、過去に取締りや検問が行われていた場所など、28種類のターゲットを識別してお知らせします。【GPS28識別】

●GPSデータの更新について

本機には、あらかじめオービス(無人式自動速度取締装置)やNシステムなどのGPSデータが登録されています。

最新データへの更新をご要望される場合、**itx**ダウンロード機能(➡ 61 ページ)をご覧ください。また、お預かり更新サービス(送料別・税込 ¥5,250)をご要望される場合、最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。

通常、測位するまで、約10秒から約3分かかりますが、購入直後や、ビルの谷間など、視界の悪い場所では、GPSの電波を受信しにくく、サーチに20分以上時間がかかる場合があります。障害物や遮へい物のない視界の良い場所へ移動し、車を停車して行ってください。

- 本機には、バッテリー(バックアップ電池)が内蔵されていますが、ご使用開始からの数日間や受信状況が悪い場合、GPS測位に時間がかかる場合があります。

測位アナウンスについて

- GPSの電波を受信(測位)すると、『ポーン 測位しました』とお知らせします。約5分経過しても測位できないときは、『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせします。
- 測位したあとでも、GPSの電波を受信できない状態が約1分以上続くと、『ポーン GPSを受信できません』と非測位のお知らせをします。非測位のお知らせをしたあとに、再び測位すると『ポーン GPSを受信しました』とお知らせします。
- ビルの谷間など、GPSの電波の受信状態が良くない場合、『ポーン GPSを受信できません』『ポーン GPSを受信しました』と測位アナウンスをくり返すことがあります。
- 測位アナウンスは、「OFF」に設定することができません。(➡ 48ページ)



GPS28識別について



内蔵メモリーに登録されているGPSデータのポイントに近づくと、オービスなどのターゲットを28種類に識別してお知らせします。

- 液晶表示内容は、実際と異なったり、変更になる場合があります。

ターゲット	警報画面	警報语句
1 ループコイル		『ジャン 500m先 ループコイルです』
2 LHシステム		『ジャン 500m先 LHシステムです』
3 新Hシステム		『ジャン 500m先 Hシステムです』
4 レーダー式オービス		『ジャン 500m先 レーダーです』
5 トンネル出口ターゲット		『ジャン トンネルの出口付近 高速道レーダーです』
6 トンネル内オービス		『ジャン トンネル内 高速道LHシステムです』



ターゲット	警報画面	警報語句
7 オービス制限速度告知		『ジャン 1km先 高速道レーダーです』 『制限速度は100キロです』
8 オービスカメラ位置		『ジャン 500m先 ループコイルです』 『カメラは左側です』
9 マイエリア		『ポーン 500m先 マイエリアです』
10 マイキャンセル		『I キャンセル中です』 (I キャンセルサウンドON時)
11 Nシステム		『ピボバポーン すぐ先 Nシステムです』
12 交通監視システム		『ピボバポーン すぐ先 交通監視システムです』
13 取締エリア		『ポーン 左方向 取締エリアです スピード注意』

ターゲット	警報画面	警報語句
14 検問エリア		『ポーン 右方向 検問エリアです』
15 取締・検問圏外		『ポーン 取締エリア外です』 『ポーン 検問エリア外です』
16 駐禁監視エリア (最重点地域)		『ポーン この付近 駐禁最重点エリアです』 ※ 最重点地域内では、アイコン を赤色で表示します。
17 駐禁監視エリア (重点地域)		『ポーン この付近 駐禁重点エリアです』 ※ 重点地域内では、アイコン を白色で表示します。
18 高速道制限速度切替りポイント		『ピボバポーン 高速道 制限速度は 100キロです』 ※ 警報画面は切替りません。
19 交差点監視ポイント		『ポーン すぐ先 交差点監視ポイントです』
20 信号無視抑止システム		『ポーン すぐ先 信号無視抑止システムです』



ターゲット	警報画面	警報語句
21 事故多発エリア		『ピポパポーン すぐ先 事故多発エリアです』
22 警察署		『ピポパポーン 500m先 警察署です』
23 道の駅		『ピポパポーン 500m先 道の駅です』
24 サービスエリア		『ピポパポーン 500m先 高速道サービスエリアです』
25 パーキングエリア		『ピポパポーン 500m先 高速道パーキングエリアです』
26 ハイウェイオアシス		『ピポパポーン 500m先 高速道ハイウェイオアシスです』
27 ハイウェイラジオ受信エリア		『ピポパポーン 高速道 ハイウェイラジオ 受信エリアです』

ターゲット	警報画面	警報語句
28 駐車場		※警報語句のお知らせはありません。

●トンネル出口ターゲット警報

トンネルの中ではGPSの電波を受信できないため、出口付近に設置されているオービスは警報できませんでしたが、トンネルの入口手前約500mと直前の2カ所(※)で、出口付近のオービスや道の駅などを液晶表示とボイスのダブルで警報します。

※ GPS測位または地理的な状況によっては、1回のみの警報になります。

●トンネル内オービス警報

トンネルの中ではGPSの電波を受信できないため、従来はトンネル内に設置されているオービスを警報できませんでしたが、本機では、トンネルの約500m手前と入口直前の2カ所(※)で、トンネル内のオービスを液晶表示とボイスのダブルで警報します。

※ GPS測位または地理的な状況によっては、1カ所のみの警報になります。

●左右方向識別ボイス

GPS警報は、ターゲットが進行方向に対して、右手または左手方向に約25°以上のとき、その方向をお知らせします。

- ・『右方向』、『左方向』のボイスは、告知時点でのターゲット方向であり、右車線、左車線を示す訳ではありません。

- ・ターゲットの反対方向に対してはお知らせしません。

※ 以下のターゲットは、左右方向識別ボイスのお知らせはありません。

- ・トンネル出口ターゲット
- ・トンネル内オービス
- ・オービス制限速度
- ・オービスカメラ位置
- ・マイキャンセル
- ・取締・検問圏外
- ・駐禁監視エリア
- ・高速道制限速度切り替えポイント
- ・ハイウェイラジオ受信エリア
- ・駐車場

●高速道識別ボイス

ターゲットが高速道に設置されている場合、『高速道』とボイスでお知らせします。

●パトライト警報

警報中のターゲット(オービスのみ)が、500m圏内に入ると、背景色が青色から赤色に変わり、パトライトの回転でお知らせします。

- ・3D表示の設定(● 58ページ)がONの場合は、パトライト警報を行いません。
- ・パトライトは、株式会社パトライトの登録商標です。



(警報イラスト挿入/3D表示OFF設定時)



警告させたい地点を登録する (マイエリア登録)

移動オービスがよく出没する地点や、新たに設置されたオービスポイントなどを登録することができ、2回目以降通過時に警告させることができます。[マイエリア]

- 登録数は30カ所まで可能で、30カ所を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の最も古いエリアを削除し新しいエリアを登録します。

● マイエリア登録をする

登録したい地点で ④ エリアボタンを押します。
『ポーン マイエリアにセットしました』とお知らせします。

〈すでにマイエリア登録されていたエリアのとき…〉
『ポーン マイエリアにセットされています』とお知らせします。

〈GPSを受信できず、マイエリア登録できなかったとき…〉
『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせしたあとに、『ポーン GPS受信できません』とお知らせします。

● 登録したマイエリアを解除する

マイエリア登録されているエリアで、④ エリアボタンを長押し(約1秒)します。
『ポーン マイエリアを解除しました』とお知らせします。

- すべてのマイエリアを解除(消去)したい場合は、「データ消去」(● 60ページ)を参照ください。

マイエリア登録したエリアに近づくと…

手前約1km/500m/通過中の3段階で警告します。

〈手前約1km(500m)のとき…〉
『ポーン 右(左)方向 1km(500m)先 マイエリアです』とお知らせします。

〈通過中…〉
『ポーン 通過します』とお知らせします。

- 手前約1kmで警告できなかったときは、警告句の『1km先』を『この先』とお知らせし、手前約500mで警告ができなかったときは、警告句の『500m先』を距離に応じて『300m /200m /100m/すぐ先』のいずれかでお知らせします。



レーダー警報をキャンセルしたい地点を登録する (マイキャンセルエリア登録)

自動ドアなど、取締り機が設置されていないにもかかわらずレーダー波の受信警報がよく鳴る地点を登録することができ、通過時にレーダー波の受信警報をキャンセルします。[マイキャンセル]

- 登録数は、「インテリジェントキャンセル」(● 46ページ)「マイキャンセル」の合計で100カ所まで可能で、100件を超えて登録しようとしたときは、通過履歴の古いものを削除し、新しいものを登録します。
- マイキャンセルは、レーダー波の受信警報をキャンセルするもので、GPS28識別(● 27~31ページ)や無線14バンド識別・ベストパートナー6識別(● 34~37ページ)の警報をキャンセルすることはできません。

● マイキャンセルエリア登録をする

登録したい地点で ④ キャンセルボタンを押します。

『ポーン マイキャンセルエリアにセットしました』とお知らせします。

〈すでにマイキャンセルエリア登録されていたエリアのとき…〉
『ポーン マイキャンセルエリアにセットされています』とお知らせします。

〈GPSを受信できず、マイキャンセルエリア登録できなかったとき…〉
『ポーン GPSをサーチ中です』とお知らせしたあとに、『ポーン GPS受信できません』とお知らせします。

● 登録したマイキャンセルエリアを解除する

マイキャンセルエリア登録されているエリアで、④ キャンセルボタンを長押し(約1秒)します。
『ポーン マイキャンセルエリアを解除しました』とお知らせします。

- すべてのマイキャンセルエリアを解除(消去)したい場合は、「データ消去」(● 60ページ)を参照ください。

登録したマイキャンセルエリアに進入すると…

登録したキャンセルエリアのポイントから半径約200mのエリアに進入し、レーダー波を受信するとレーダー警報音をキャンセルします。

- I キャンセルサウンド(● 47ページ)の設定がONの場合は、『I キャンセル中です』とお知らせします。

取締りレーダー波のX・KツインバンドとGPSの3バンドの他に、無線14バンド受信をプラスし、業界最多の17バンド受信ができます。

$$\boxed{\text{GPS}} + \boxed{\text{Xバンド}} + \boxed{\text{Kバンド}} + \boxed{\text{無線14バンド}} = \text{17 BAND}$$

1. 無線14バンド受信機能について

安心して、安全に運転していただくために、無線14バンド受信機能を搭載しました。これらの無線を受信すると、液晶表示とボイスのダブルでお知らせします。【無線14バンド識別】

<各種無線を受信すると…>

受信バンド	警報画面	警報語句
① 取締無線		『ピロローン ピロローン 取締無線です』
② カーロケ無線		『ピロローン ピロローン カーロケ遠方受信です』 『ピロローン ピロローン カーロケ近接受信です』
③ デジタル無線		『ピロローン ピロローン デジタル無線です』
④ 取締特小無線		『ピロローン ピロローン 特小無線です』
⑤ ヘリテレ無線		『ピロローン ピロローン ヘリテレ無線です』

受信バンド	警報画面	警報語句
⑥ 署活系無線		『ピロローン ピロローン 署活系無線です』
⑦ レッカー無線		『ピロローン ピロローン レッカー無線です』
⑧ 消防無線		『ピロローン ピロローン 消防無線です』
⑨ 消防ヘリテレ無線		『ピロローン ピロローン 消防ヘリテレ無線です』
⑩ 新救急無線		『ピロローン ピロローン 救急無線です』
⑪ JH無線		『ピロローン ピロローン JH無線です』
⑫ 警備無線		『ピロローン ピロローン 警備無線です』

受信バンド	警報画面	警報語句
⑬ 警察電話		『ピロローン ピロローン 警察電話です』
⑭ 警察活動無線		『ピロローン ピロローン 警察活動無線です』

- ・ 液晶表示内容は、実際と異なったり、変更になる場合があります。
- ・ レーダースコープ画面におけるターゲット表示と無線受信の発信元とは無関係です。

2. ベストパートナー 6 識別

カーロケ無線、取締無線、デジタル無線などの無線の受信状態からシミュレーションし、快適ドライブのベストパートナーとして、安全走行のためのタイムリーな情報をお知らせします。

また、カーロケ無線(407.7MHz帯の電波)を受信したとき、その発信元の遠近を自動識別し、さらに発信元が圏外になったと思われる場合もお知らせします。

- ・ カーロケ無線やベストパートナーは、カーロケ無線が受信可能な一部地域のみはたります。

【検問注意：特許 第4119855号】

【並走追尾注意/すれ違い/圏外識別：特許 第3780262号】

●「取締無線」「カーロケ無線」「デジタル無線」の設定(● 55ページ)をすべて「ON」にする

- ・ いずれかの無線がOFFの状態では、一部のベストパートナー機能が動きません。

種々の無線を受信すると・・・

識別項目	注意内容	警報画面	警報語句
① 並走追尾注意	緊急車両が近くにいる可能性が高いとき		『ピロローン ピロローン スピード注意』 (2回くり返し)
② すれ違い注意	近くにいたと思われる緊急車両などが、遠ざかった可能性が高いとき		『ピロローン ピロローン 遠ざかりました』 (2回くり返し)

識別項目	注意内容	警報画面	警報語句
③ 取締注意	比較的近くで取締りなどが行われている可能性が高いとき		『ピロローン ピロローン 取締注意』 (2回くり返し)
④ 検問注意	比較的近くで検問などが行われている可能性が高いとき		『ピロローン ピロローン 検問注意』 (2回くり返し)
⑤ カーロケ遠近識別	緊急車両などが遠方のときや近接している可能性が高いとき		『ピロローン ピロローン カーロケ遠方受信です』
			『ピロローン ピロローン カーロケ近接受信です』
⑥ カーロケ圏内・圏外識別	カーロケ受信の発信元が、まだ近くにいる場合や遠ざかった可能性が高いとき		・ カーロケ圏内中は、のアイコンが表示され、警報語句のお知らせはありません。
			『ピロローン ピロローン カーロケ 圏外です』

- ・ ③と④のボイスによるお知らせから、しばらくの間、レーダー受信感度モードがスーパーエクストラモードになります。(ただし、「AAC/ASS」モードのとき ● 45ページ)
- ・ 警報によるアドバイスがあっても、実際とは異なる場合がありますので、目安としてお考えください。
- ・ レーダースコープ画面におけるターゲット表示と無線受信の発信元とは無関係です。
- ・ カーロケターシステムは、全国的に新システムへの移行が進んでいます。現在は受信可能な地域であっても今後、新システムへの移行により受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。新システムが導入された地域や、新システムに移行した場合、カーロケ無線の警報や、ベストパートナー6識別機能は動きません。

本機は、レーダー、GPS、無線の各種機能を個別に設定できます。
ご使用状況にあわせて「オールオンモード」、「ローカルモード」、「ドライブモード」、「ドライブローカルモード」の4モードから選択できます。
初期値は、「ドライブモード」に設定されています。
各モードの設定値は、「各モードの初期値一覧」(☛ 40 ページ)をご覧ください。

オールオンモード：A

各種機能がすべてONに設定されています。

ローカルモード：L

通勤時など、ふだんの生活圏内でのご使用を想定し、必要最低限の機能をONに設定していますが、各種機能はお好みに応じて設定を変更することができます。

ドライブモード：D

ふだんの生活圏(ローカルエリア)外へ遠出する場合を想定し、初期値は、必要とされる機能をONに設定しています。設定内容は、お好みに応じて変更することができます。

ドライブローカルモード：D または L

「ローカルモード」と「ドライブモード」を自動で切替えるモードです。
設定したローカルエリア内では「ローカルモード」で動作し、ローカルエリア外になると、自動的に「ドライブモード」になり、また、ローカルエリア内に戻ると「ローカルモード」と自動的に切替ります。

※ ローカルエリアの設定(☛ 39 ページ)をしていない場合は、「ドライブローカルモード」を選択しても、常にドライブモードとなりローカルモードに切替りません。

ローカルエリアとは・・・

ドライブローカルモードで使用する場合、ローカルモードが適応される地域です。

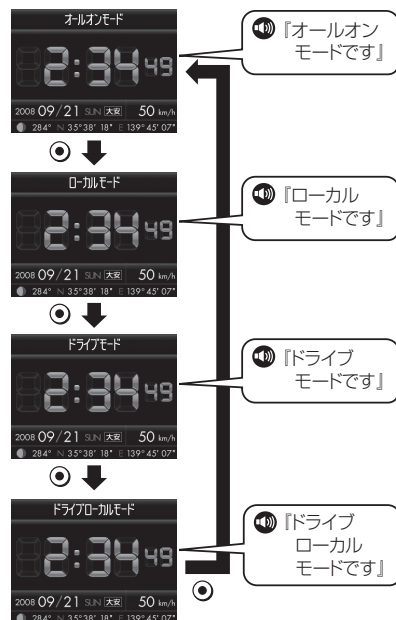
現在位置登録(☛ 39 ページ)で記憶させた地点を中心に、10km/20km/30kmの半径を選ぶことができます。ふだんの生活圏を想定し、半径を選択してください。



モード選択のしかた

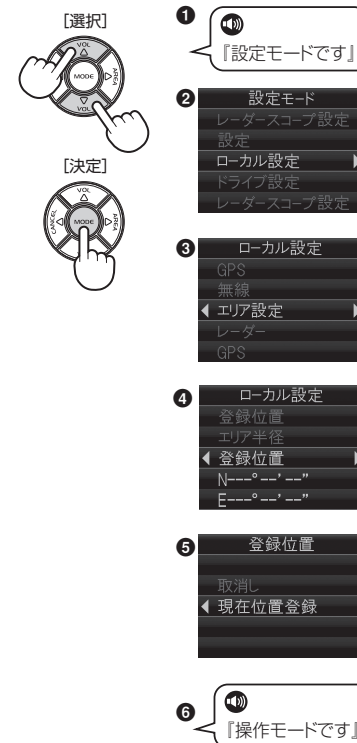
モードボタンを押す

●モードボタンを押すたびにモードが変わり、液晶表示とボイスのダブルでお知らせします。



<「ローカルエリア」の設定のしかた>

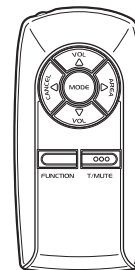
- モードボタンを長押し(約1秒)で設定モードにする
- 「ローカル設定」を選択し、決定する
- 「エリア設定」を選択し、決定する
- 「登録位置」を選択し、決定する
- 「現在位置登録」を選択し、決定する
 - 「衛星測位中」→「設定しました」→「登録位置/N...°/E...°」(現在位置の緯度・経度)が表示され、登録が完了します。
 - GPS測位できない場合は、『ピーピー』と鳴り、「設定できません」と表示されます。
- モードボタンを長押し(約1秒)で操作モードに戻る
 - エリア半径(初期値：半径10km)を変更したい場合は、④の項目で「エリア半径」を選択・決定し、「半径10km」「半径20km」「半径30km」の中から選択し、決定してください。



各モードの初期値一覧

		●ローカルモード (設定変更可)	●ドライブモード (設定変更可)	●オールオンモード (設定変更不可)
レーダー	警報音	メロディ1	メロディ1	(ドライブモードの値と同じ)
	受信感度モード	AAC/ASS	AAC/ASS	(ドライブモードの値と同じ)
	I キャンセル	ON	ON	ON
	I キャンセルサウンド	OFF	OFF	ON
	反対キャンセル	ON	ON	ON
GPS	測位アナウンス	ON	ON	ON
	道路選択	オート	オート	(ドライブモードの値と同じ)
	オービス	ON	ON	ON
	直前速度告知	ON	ON	ON
	通過告知	ON	ON	ON
	制限速度告知	ON	ON	ON
	カメラ位置告知	ON	ON	ON
	Nシステム	OFF	ON	ON
	交通監視システム	OFF	ON	ON
	検問・取締エリア	OFF	ON	ON
	交差点監視	OFF	OFF	ON
	信号無視抑止	OFF	OFF	ON
	事故多発エリア	OFF	OFF	ON
	警察署	OFF	OFF	ON
	道の駅	OFF	OFF	ON
	サービスエリア	OFF	OFF	ON
	パーキングエリア	OFF	OFF	ON
	ハイウェイアシス	OFF	OFF	ON
	ハイウェイラジオ	OFF	OFF	ON
無線	制限速度切替告知	ON	ON	ON
	速度超過告知	ON	ON	ON
	駐禁監視エリア告知	OFF	ON	ON
	駐車場表示	OFF	OFF	ON
	無線警報	ボイス	ボイス	(ドライブモードの値と同じ)
	受信感度	LO	LO	HI
	取締無線	ON	ON	ON
	カーロケ無線	ON	ON	ON
	デジタル無線	OFF	ON	ON
	ヘリテレ無線	OFF	OFF	ON
	特小無線	OFF	OFF	ON
	警察電話	OFF	OFF	ON
	警察活動無線	OFF	OFF	ON
	署活系無線	OFF	OFF	ON
	消防無線	OFF	OFF	ON
	消防ヘリテレ無線	OFF	OFF	ON
	レッカー無線	OFF	OFF	ON
	救急無線	OFF	OFF	ON
	JH無線	OFF	OFF	ON
エリア設定	警備無線	OFF	OFF	ON
	登録位置	未登録	—	—
	エリア半径	半径10km	—	—

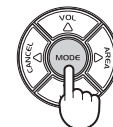
各種設定は、液晶画面を見ながら、リモコンのボタン操作で行います。



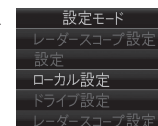
例>> 待受画面を「カレンダー1」に設定変更するには・・・

1 「設定モード」にする

●モードボタンを長押し(約1秒)します。

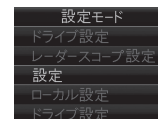
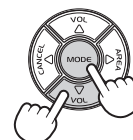


●選択項目が反転表示されます。



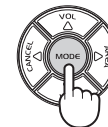
2 「設定」を選択、決定する

●ボタンを3回押しして「設定」を選択し、
●モードボタンを押します。



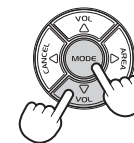
3 「待受画面」の項目を決定する

●モードボタンを押します。



4 「カレンダー1」を選択し、決定する

●ボタンを2回押しして「カレンダー1」を選択し、
●モードボタンを押します。

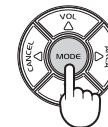


●変更した項目に「●」が移ります。



5 「操作モード」に戻る

●モードボタンを長押し(約1秒)します。

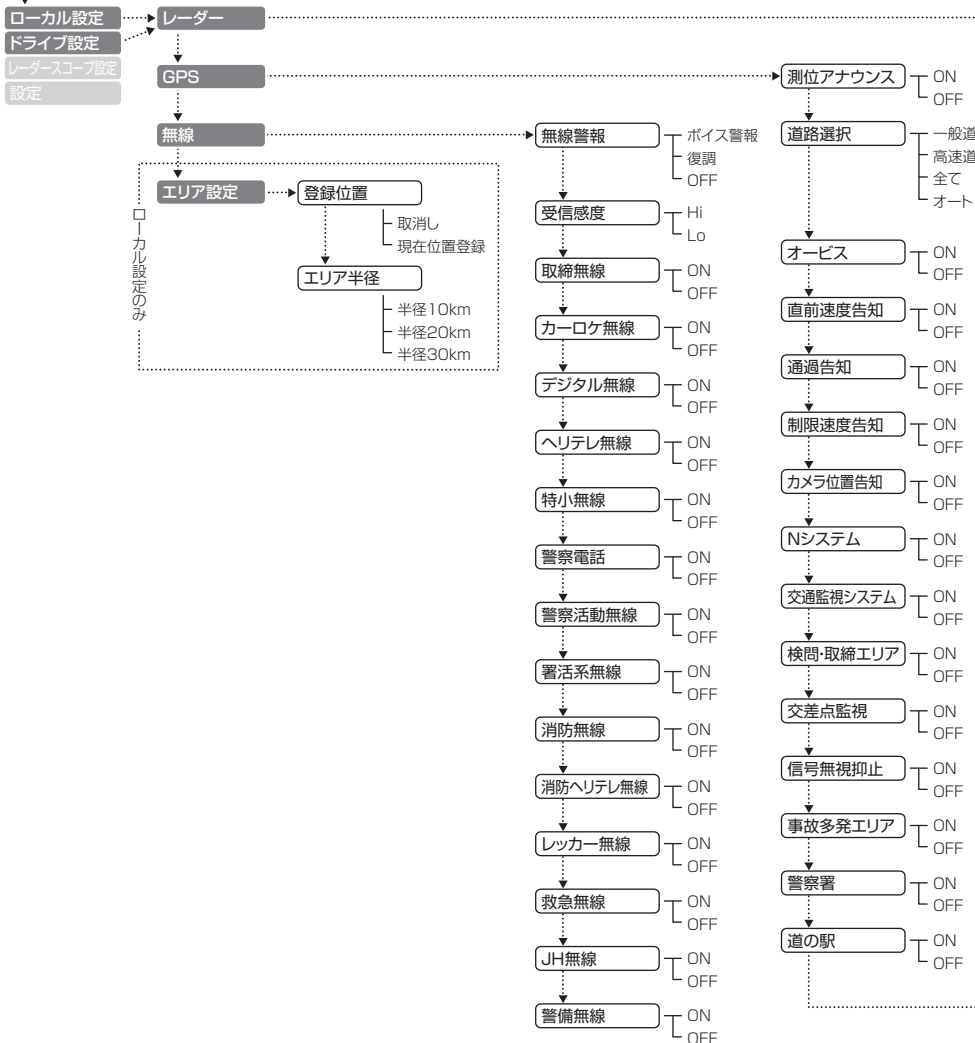


設定終了後、5分以内に再度「設定モード」にすると、前回設定した項目が最初に表示されます。

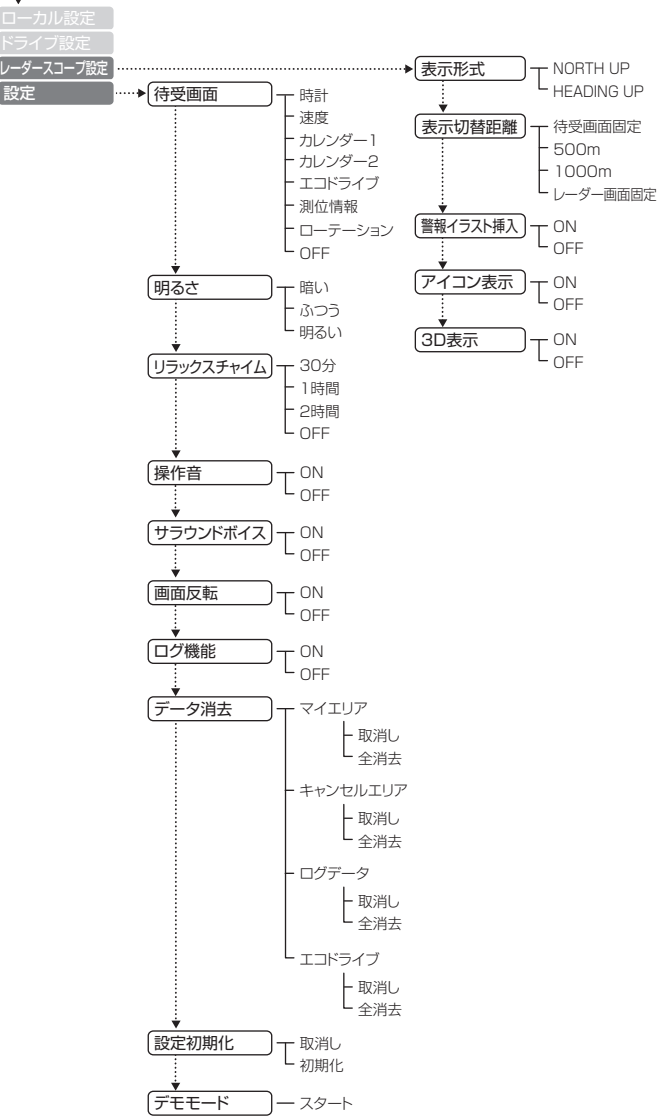
設定メニューのフローチャート

設定メニューのフローチャートにそって各項目の設定変更の操作ができます。

設定モード (⓪モードボタン長押し)



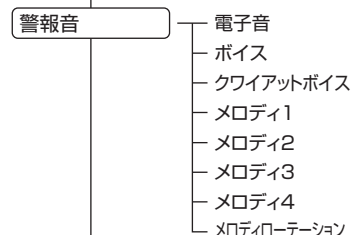
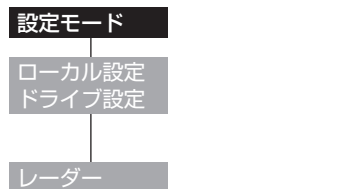
設定モード (⓪モードボタン長押し)



使いかた／設定編

使いかた／設定編

※詳しい操作方法は「各種設定のしかた」(➡ 41 ページ)をご覧ください。



① モードボタンを長押し(約1秒)する

「ローカル設定」または「ドライブ設定」を選択する

- ローカルモードでご使用の場合はローカル設定、ドライブモードでご使用の場合はドライブ設定を選択してください。

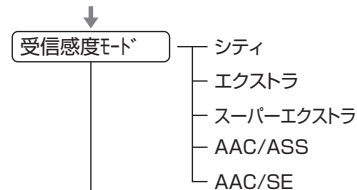
「レーダー」を選択する

〈警報音〉

レーダー波受信時の警報音を選択できます。

選択項目	警報のしかた
電子音	『ピピピピッ…』という電子音で警報します。
ボイス	『ピンポーン ピンポーン』のあとに、『スピード注意』とボイスで警報します。
クワイアットボイス	『ピンポーン レーダーです』と約10秒に1回ボイスで警報します。
メロディ1	レーダー波を受信すると♩「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」のメロディアラームで警報します。
メロディ2	レーダー波を受信すると♩「トルコ行進曲」のメロディアラームで警報します。
メロディ3	レーダー波を受信すると♩「ウィリアムテル序曲」のメロディアラームで警報します。
メロディ4	レーダー波を受信すると♩「カノン」のメロディアラームで警報します。
メロディローテーション	レーダー波を受信することにより、4曲のメロディアラーム♩「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」→「トルコ行進曲」→「ウィリアムテル序曲」→「カノン」順で警報します。

- オールオンモードでご使用の場合は、「ドライブ設定」で設定した値が適用されます。



〈受信感度モード〉

選択項目	アイコン表示	受信感度モード	
シティ		シティモード	固定
エクストラ		エクストラモード	
スーパーエクストラ		スーパーエクストラモード	
AAC/ASS	(時速30km未満) (車速により変化)	AAC/不要警報カット + ASS/最適感度選択モード	自動選択
AAC/SE	(時速30km未満) (時速30km以上)	AAC/不要警報カット + スーパーエクストラモード	固定

●受信感度の切替え(マニュアル)

	受信感度	走行環境や条件
高い	スーパーエクストラモード	高速道路
↑	エクストラモード	郊外や高速道路
低い	シティモード	市街地

受信感度モードについて

受信感度が高いほど、遠くの電波を受信できますが、取締りレーダー波と同じ他の電波も受信してしまいます。走行環境や条件に合わせて、受信感度をお選びください。また、受信感度が高いほど、新Hシステムなどの受信には有効となります。

- オールオンモードでご使用の場合は、「ドライブ設定」で設定した値が適用されます。

「AAC/ASS」モードについて

GPSの速度検出機能により、AAC/不要警報カットやASS/最適感度選択の機能が働きます。

AAC/不要警報カット

●走行速度が時速30km未満の場合は…

取締りレーダー波を受信しても、警報をカットしますので、停車中や低速走行中に、自動ドア等の電波を受信しても、誤警報することはありません。

- GPS測位ができない状態では、AACシステムは作動せず、30km/h以下でも警報はカットされません。

ASS/最適感度選択

●走行速度が時速30km以上の場合は…

走行速度に合わせて、最適な受信感度を自動的に選択します。

走行速度	受信感度
30km ~ 39km	シティモード
40km ~ 79km	エクストラモード
80km ~	スーパーエクストラモード

「AAC/ASS」モードにすると低速走行 / 停車中の不要な警報を抑え、さらにASS機能が働いて走行速度に応じて受信感度が自動的に変化します。

時速	30km	40km	80km
車の状態	停車	走行中	走行中
受信感度モード表示	← [C] →	← [E] →	← [SE] →
警報状態	警報しない	警報する	
受信感度モード		シティモード	エキストラモード

- 電源ON後、GPS測位するまでの間は、スーパーエキストラモードになります。
- 走行中にGPS測位ができなくなると、そのときの受信感度から時間経過でスーパーエキストラモードに変化します。

I キャンセル ON
OFF

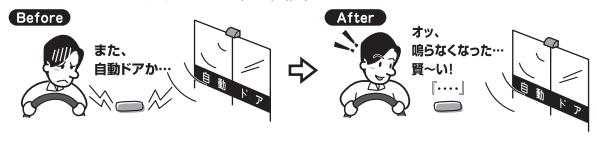
〈アイ(I)キャンセル〉(インテリジェントキャンセル)【特許 第3902553号】

自動ドアなどで誤警報する場所を通過した際、GPSの位置情報を自動で登録し、2回目以降通過時にレーダー波を受信した場合、レーダー警報をキャンセルします。

登録数はインテリジェントキャンセル、マイキャンセルをあわせ100カ所まで登録され、それを超えると通過履歴の最も古いものを削除し、新しいものを登録します。

インテリジェントキャンセルのしくみ

- ① 取締りレーダー波と同じ電波を受信すると警報。【1回目】
- ② 取締りレーダー波かどうかを識別。
- ③ 誤警報と思われる場合、「誤警報エリア」として自動登録。
- ④ 同じ地点で電波を受信しても警報をキャンセル。【2回目以降】



I キャンセルサウンド ON
OFF

反対キャンセル ON
OFF

- GPS測位していないときや誤警報エリアの状況によっては、誤警報がキャンセルされない場合があります。
- キャンセルされないエリアでは、マイキャンセルをあわせてご利用ください。
- インテリジェントキャンセル中(液晶で「I キャンセル」表示中)に、④ キャンセルボタンを押すと、インテリジェントキャンセルエリアからマイキャンセルエリアに変化(登録)します。
- 「I キャンセル」を「OFF」に設定すると、インテリジェントキャンセル機能を停止させることができます。
- 自動登録したエリアは、「I キャンセル」の設定や電源をOFFにしても記憶されています。
- 登録されたエリアをすべて消去したい場合は、「データ消去」(60ページ)をご覧ください。
- オールオンモードでご使用の場合は、インテリジェントキャンセルをOFFに設定できません。

〈アイ(I)キャンセルサウンド〉(インテリジェントキャンセルサウンド)

インテリジェントキャンセル中、マイキャンセル中に、「I キャンセル中です... I キャンセル中です...」と10秒に1回音声を発する機能です。

- オールオンモードでご使用の場合は、インテリジェントキャンセルサウンドをOFFに設定できません。

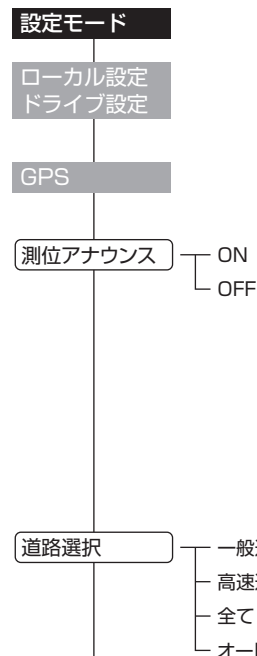
〈反対車線オービスキャンセル機能〉

GPSデータに登録されている新Hシステムとレーダー式オービスポイントの反対車線で、レーダー波の受信警報をキャンセルする機能です。

- オールオンモードでご使用の場合は、反対車線オービスキャンセル機能をOFFに設定できません。

「ローカルモード」「ドライブモード」におけるGPS機能の各項目を設定できます。

・詳しい操作方法は(➡ 41 ページ)「各種設定のしかた」をご覧ください。



① モードボタンを長押し(約1秒)する

「ローカル設定」または「ドライブ設定」を選択する

- ・ローカルモードでご使用の場合はローカル設定、ドライブモードでご使用の場合はドライブ設定を選択してください。

「GPS」を選択する

〈測位アナウンス〉

「測位アナウンス」のON/OFFができます。
ビルの谷間などGPSの電波の受信状態が良くない場合、『ボーンGPSを受信できません』『ボーンGPSを受信しました』と測位アナウンスをくり返すことがあります。

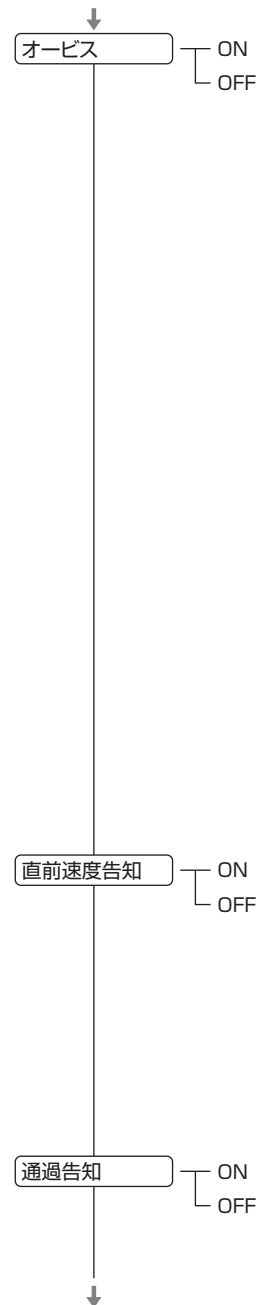
- ・「OFF」に設定すると、測位アナウンスを停止することができます。
- ・オールオンモードでご使用の場合は、常に測位アナウンス「ON」となります。

〈道路選択〉

GPS警報する道路を「一般道」「高速道」「全て」「オート」から選択することができます。

- ・GPS28識別警報のハイウェイアシスは、「一般道」に設定された場合もGPS告知されます。
- ・オールオンモードでご使用の場合は、「ドライブ設定」で設定した値が適用されます。

一般道	一般道のターゲットのみ警報します。
高速道	高速道のターゲットのみ警報します。
全て	一般道および高速道のすべてのターゲットを警報します。
オート	一般道と識別できたときは、一般道のターゲットのみ警報し、高速道と識別できたときは、高速道のターゲットのみ警報します。 ・認識が困難な状況や認識中の場合は、一般道／高速道の両方のターゲット表示・警報になることがあります。 ・GPS測位が困難な状況では、正しく識別できない場合があります。 ・高速道に乗っている時間が短い場合は、高速道に判定されないことがあります。 ・渋滞等により高速道で低速走行もしくは停車している場合は、高速道に判定されません。



〈オービス〉

ループコイル/LHシステム/新Hシステム/レーダー式のオービス5段階警報のON/OFFができます。

オービス5段階警報とは？

オービスの手前2km(高速道のみ)／1km／500m／通過直前(直前速度告知)／通過中(通過告知)の最大5段階でお知らせします。

●警報内容(例)

〈手前約2km〉

『ジャン 2km先 高速道 LHシステムです』

〈手前約1km(500m)〉

『ジャン 1km(500m)先 高速道 LHシステムです』

〈通過直前(直前速度告知)〉

『ジャン 走行速度は60キロ以下です』

〈通過中(通過告知)〉

『ジャン 通過します』

- ・約2km手前の警報(高速道のみ)は、オービスからの角度が右手または左手方向に約40度以内で、その路線の制限速度を超えて走行している場合にお知らせします。
- ・約2km／1km手前の警報ポイントでお知らせできなかったときは、警報内容の「1km先」を「この先」とお知らせし、手前約500mでお知らせできなかったときは、警報内容の「500m先」を距離に応じて「300m / 200m / 100m / すぐ先」のいずれかでお知らせします。
- ・通過直前(直前速度告知)は、車の走行速度をお知らせするもので、道路の制限速度告知ではありません。
- ・トンネル出口ターゲットとトンネル内オービスの警報は、オービス5段階警報とは異なります。(➡ 31 ページ)

〈直前速度告知〉

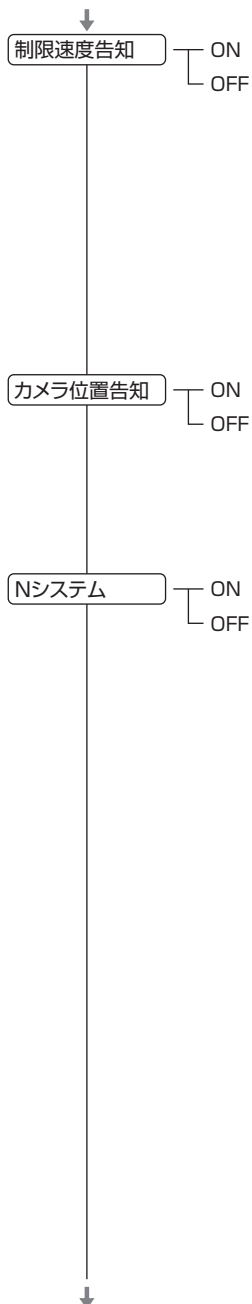
「オービス直前速度告知」のON/OFFができます。
オービス直前の車の速度をボイスで告知します。『ジャン 走行速度は〇〇です』

- ・速度は「120キロ以上／120キロ以下／110キロ以下／100キロ以下／90キロ以下／80キロ以下／70キロ以下／60キロ以下／50キロ以下／40キロ以下」のいずれかで告知します。
- ・走行速度は、GPSの測位状況により実際の速度と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

〈通過告知〉

「オービス通過告知」のON/OFFができます。
オービスの撮影ポイント(※)やマイエリアの通過をお知らせします。『…通過します』

※ GPSの測位状況により、実際のオービスの直下ではなく、通過前や通過後に告知される場合があります。



〈制限速度告知〉

約1km手前のオービス警報に続けて、道路の制限速度をお知らせします。
『ジャン 1km先…』『制限速度は〇〇です』『スピード注意』

- 制限速度は「40キロ／50キロ／60キロ／70キロ／80キロ／90キロ／100キロ」のいずれかで告知します。
- 『スピード注意』のお知らせは、速度超過告知(● 53ページ)を「ON」に設定し、制限速度を超えて走行時のみ告知します。
- 普通自動車に対する制限速度をお知らせします。また、事故や天候、時間帯などによって変更する制限速度には対応しておりませんので、あらかじめご了承ください。状況に応じた規制速度で走行してください。

〈カメラ位置告知〉

約500m手前のオービス警報に続いて、オービスのカメラ位置をお知らせします。
『ジャン 500m先…』『カメラは〇〇です』

- カメラ位置は「右側」「左側」「正面」のいずれかで告知します。

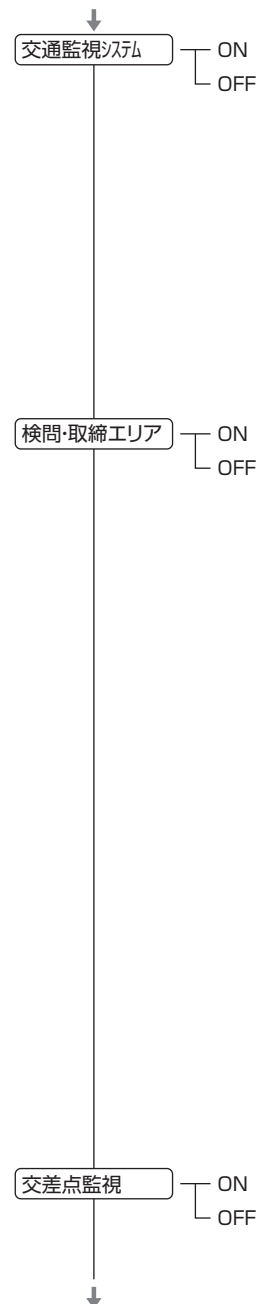
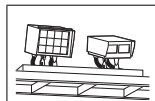
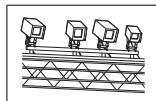
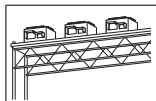
〈エヌ(N)システム〉

「Nシステム告知」のON/OFFができます。
Nシステムは約300m手前から通過直前に、『ビボパポーン（右／左方向）すぐ先（高速道）Nシステムです』とお知らせします。

- 「Nシステム告知」された場合でも、実際は稼動していないNシステムもあります。

Nシステムとは？

「自動車ナンバー読み取り装置」の略称で、その名の通り走行中の自動車のナンバーを道路上に設置した赤外線カメラにより自動的に読み取り、そのデータを各都道府県の警察本部などに専用線を通して送信する装置で、自動車を利用した犯罪の捜査や盗難車輛の検挙、発見などを効率的に行うことを目的に開発、導入されたものです。



〈交通監視システム〉

「交通監視システム告知」のON/OFFができます。
交通監視システムは約300m手前から通過直前に、『ビボパポーン（右／左方向）すぐ先 交差点監視システムです』とお知らせします。

- 現在、交通監視システムは一般道にのみ設置されています。

交通監視システムとは？

交通監視システムとは「画像処理式交通流計測システム」などと言われているシステムで、道路上に設置したCCDカメラで撮影した画像を処理し、交通量、速度、車種などを計測するものです。
本システムは東京都港湾局の管轄で、計測した車速により『速度落とせ』や『速度オーバー』等を掲示板で警告しますが、スピード取締りの実績はありません。

〈検問・取締エリア〉

「検問・取締エリア警報」のON/OFFができます。
過去に取締りや検問が行われていた場所があらかじめ登録（検問エリア／取締エリア）されています。
検問エリア／取締エリアの約1km手前とエリアに入ったとき、エリア圏外になったときの3段階でお知らせします。

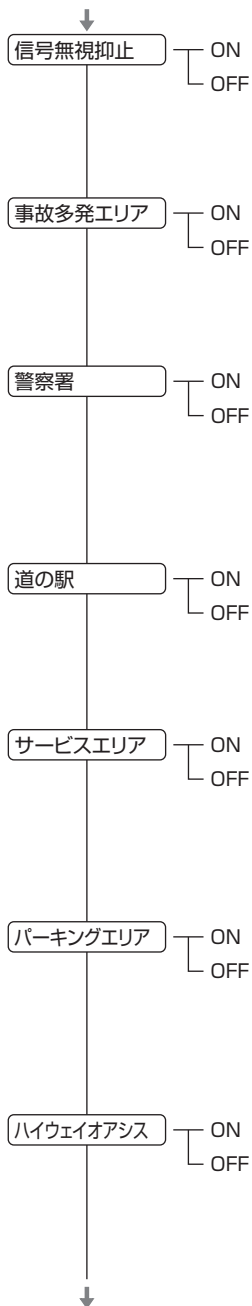
- 取締エリアや検問エリアは、過去のデータに基づき登録されていますが、常に行われている訳ではありません。目安としてお考えください。

取締エリアの場合	
1km 手前…	『ポーン（右／左方向） 1km 先（高速道）取締エリアです』
取締エリアの中に入ったとき…	『ポーン 取締エリアです スピード注意取締エリアです スピード注意』
取締エリア圏外になったとき…	『ポーン 取締エリア外です』

検問エリアの場合	
1km 手前…	『ポーン（右／左方向） 1km 先（高速道）検問エリアです』
検問エリアの中に入ったとき…	『ポーン 検問エリアです 検問エリアです』
検問エリア圏外になったとき…	『ポーン 検問エリア外です』

〈交差点監視〉

「交差点監視ポイント警報」のON/OFFができます。
過去に交差点で検問が行われたポイントが登録されていて、約300m手前になると、『ポーン（右／左方向）すぐ先 交差点監視ポイントです』とお知らせします。



〈信号無視抑止〉

「信号無視抑止システム告知」のON/OFFができます。
信号無視抑止システムは約300m手前から通過直前に、『ポーン（右／左方向）すぐ先 信号無視抑止システムです』とお知らせします。

〈事故多発エリア〉

「事故多発エリア告知」のON/OFFができます。
過去に事故が多発したエリアが登録されていて、約300m手前になると、『ピポパポーン（右／左方向）すぐ先 事故多発エリアです』とお知らせします。

〈警察署〉

全国の警察署が登録されていて、約500m手前から通過直前に、『ピポパポーン（右／左方向）500m先 警察署です』とお知らせします。
• 約500m以内のときは、距離に応じて『300m／200m／100m／すぐ先に』のいずれかで告知します。

〈道の駅〉

「道の駅告知」のON/OFFができます。
全国の道の駅が登録されていて、約1km(500m)手前になると、『ピポパポーン（右／左方向）1km(500m)先 道の駅です』とお知らせします。

〈サービスエリア〉

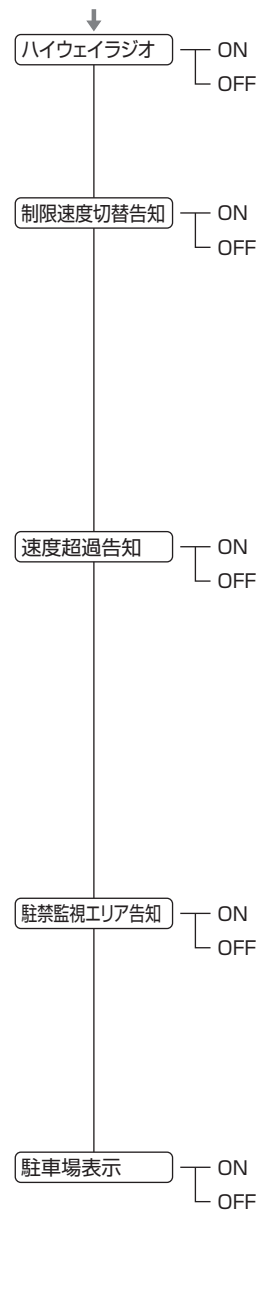
「サービスエリア告知」のON/OFFができます。
全国の高速道サービスエリアが登録されていて、約1km(500m)手前になると、『ピポパポーン（右／左方向）1km(500m)先 高速道サービスエリアです』とお知らせします。

〈パーキングエリア〉

「パーキングエリア告知」のON/OFFができます。
全国の高速道パーキングエリアが登録されていて、約1km(500m)手前になると、『ピポパポーン（右／左方向）1km(500m)先 高速道パーキングエリアです』とお知らせします。

〈ハイウェイアシス〉

「ハイウェイアシス告知」のON/OFFができます。
全国の高速道ハイウェイアシスが登録されていて、約1km(500m)手前になると、『ピポパポーン（右／左方向）1km(500m)先 高速道ハイウェイアシスです』とお知らせします。



〈ハイウェイラジオ〉

「ハイウェイラジオ受信エリア告知」のON/OFFができます。
全国のハイウェイラジオ受信エリアが登録されていて、約100m手前になると、『ピポパポーン 高速道ハイウェイラジオ受信エリアです』とお知らせします。

〈制限速度切替告知〉

「高速道制限速度切替ポイント告知」のON/OFFができます。
高速道路における制限速度を高速道への進入ポイントやパーキングエリアなどの出口ポイント、高速道切替ポイントでお知らせします。
『ピポパポーン 高速道制限速度は〇〇です』

- 制限速度は『40キロ／50キロ／60キロ／70キロ／80キロ／90キロ／100キロ』のいずれかで告知します。
- 普通自動車に対する制限速度をお知らせします。事故や天候、時間帯などによって変更する制限速度には対応しておりませんので、あらかじめご了承ください。

〈速度超過告知〉

オービス制限速度告知、直前速度の告知、制限速度切替告知時に制限速度を超えて走行している場合、各告知に続けて『スピード注意』とお知らせします。

- 制限速度を10km/h以上超過している場合は『スピード注意』、制限速度を30km/h以上超過している場合は『速度超過です スピード注意』とお知らせします。
- 普通自動車の制限速度に対しての速度超過をお知らせします。また、事故や天候、時間帯などによって変更する制限速度には対応しておりませんので、あらかじめご了承ください。
- 走行速度は、GPSの測位状況により実際の速度と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

〈駐車監視エリア告知〉

「駐車禁止監視エリア告知」のON/OFFができます。
本機に登録されている違法駐車取締り活動ガイドラインの最重点地域・重点地域内に進入すると、『ポーン この付近 駐車最重点(重点)エリアです』とお知らせします。

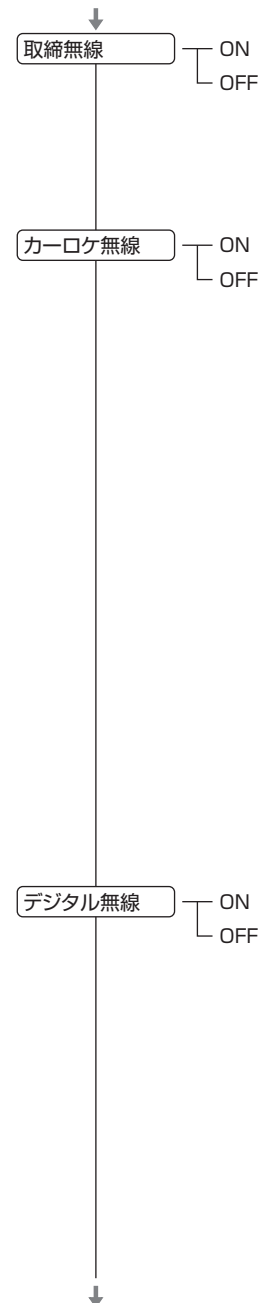
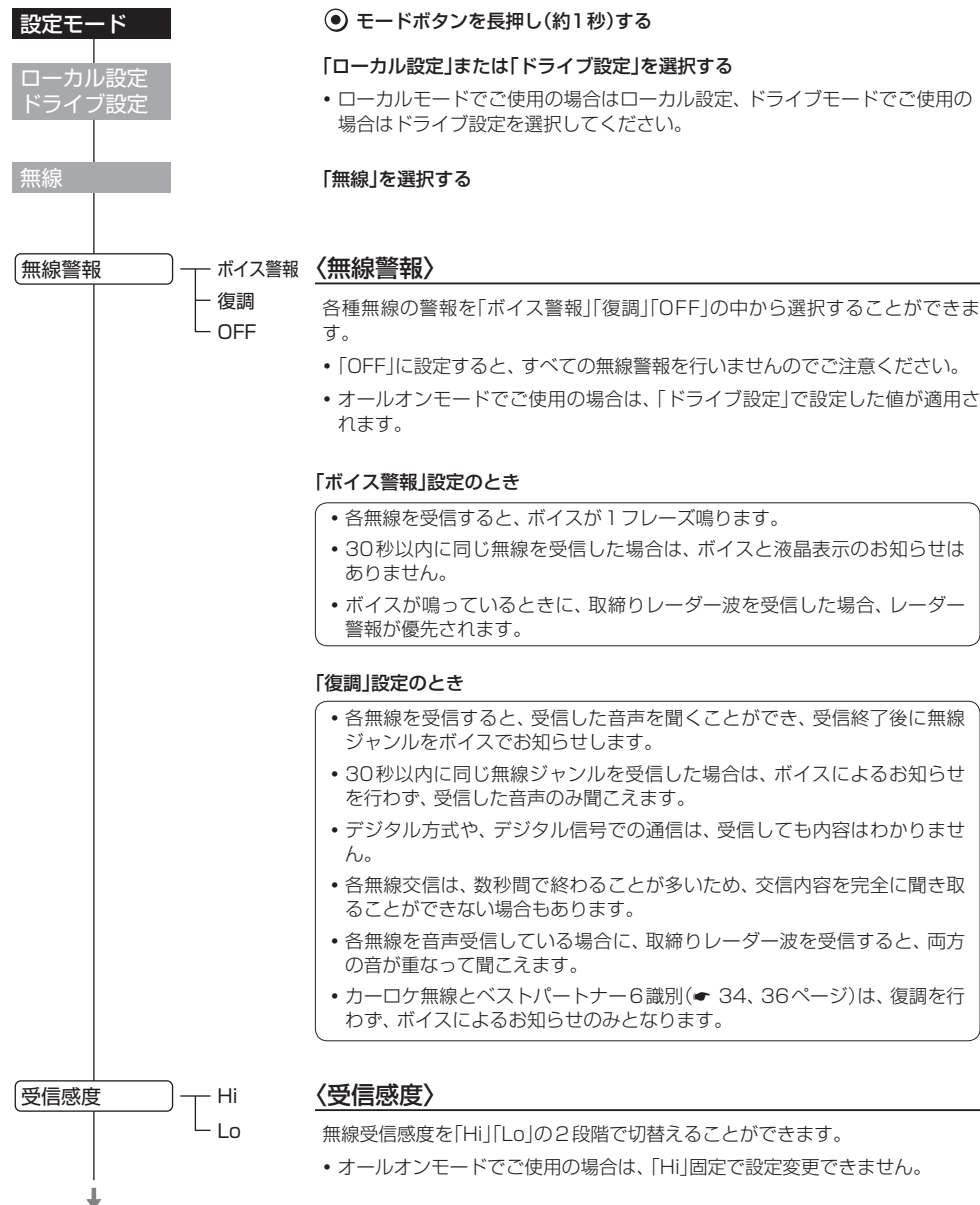
- 駐車監視エリア告知があった場合、itx MAPサービス(● 68、69ページ)を利用して、最寄りの駐車場を探すことができます。

〈駐車場表示〉

「有料駐車場表示」のON/OFFができます。
違法駐車取締り活動ガイドラインの最重点地域内に登録されている有料駐車場ポイントをレーダースコープ画面に表示します。

「ローカルモード」「ドライブモード」における無線機能の各項目を設定できます。

※詳しい操作方法は「各種設定のしかた」(● 41 ページ)をご覧ください。



〈取締無線〉

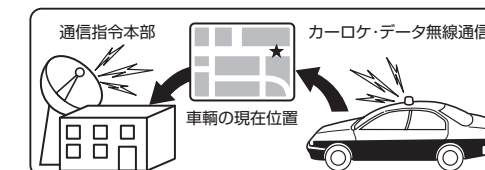
スピード違反の取締りや、シートベルト着用義務違反の取締り現場では、350.1MHzの電波を用いた無線で連絡が行われることがあります。

- 取締り現場での連絡方法には350.1MHzの電波を用いた無線の他に、有線方式などもあり、受信自体ができない場合もあります。

〈カーロケ無線〉

カーロケーターシステムとは、「無線自動車動態表示システム」のことで、通信指令本部が移動局(パトカー等)の現在位置をリアルタイムで地図画面上に表示し、把握するシステムです。

カーロケーターシステムを搭載した移動局は、GPSによる緯度・経度情報をデジタル化し、407.7MHz帯の周波数でデータ伝送していますので、その電波受信により、移動局が近くにいる可能性が高いことを察知できます。

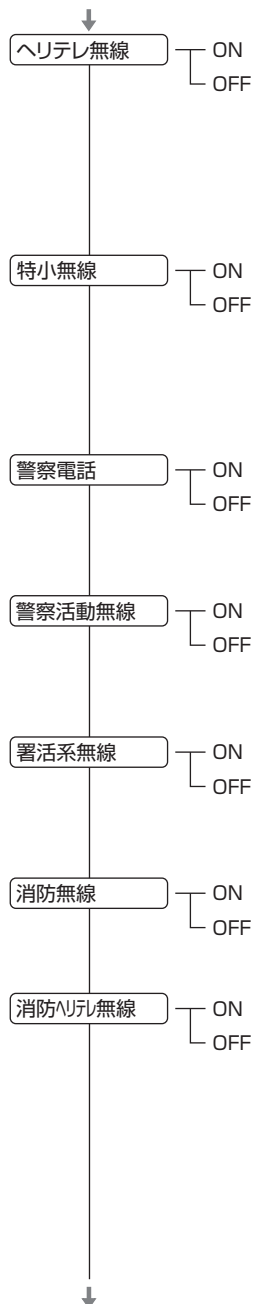


- カーロケーターシステム搭載車であっても、使用されていない場合がありますので、カーロケ無線を受信できないことがあります。
- カーロケーターシステムは、全国的に新システムへの移行が進んでいます。現在は受信できる地域であっても、新システムへの移行により、受信できなくなる場合がありますので、あらかじめご了承ください。新システムが導入された地域では、カーロケ無線の警報ができません。
- 受信のタイミングによっては、実際の移動局の接近と受信のお知らせがズレる場合があります。

〈デジタル無線〉

デジタル無線とは、各都道府県警察本部と移動端末間で交信するためのもので、移動端末から各都道府県警察本部へ送信する際に、159～160MHz帯の周波数が使われていますので、その電波受信により、移動局が近くにいる可能性が高いことを察知できます。

カーロケ帯受信機能と同じように、事前に察知することにより、緊急車輛の通行の妨げにならないようにするなど、安全走行に役立ちます。



〈ヘリテレ無線〉

「ヘリコプター画像伝送システム連絡用無線」の略称で、ヘリコプターを使って事件や事故処理、または取締りを行うときなどに地上との連絡用として使われる無線がヘリテレ無線です。

- 一部地域や一部ヘリコプターで、ヘリテレ無線が装備されていない場合や使用されていない場合は受信できないことがあります。

〈特小無線〉

スピード違反の取締りや、シートベルト着用義務違反の取締り現場では、取締無線(350.1MHz)の他に、特定小電力無線が用いられる場合があります。

- 取締り現場の連絡用として使われていない場合もありますので、ご了承ください。

〈警察電話〉

移動警察電話(移動警電)ともいい、警察専用の自動車携帯電話システムのことです。

〈警察活動無線〉

主に機動隊の連絡用無線で、行事などの警備用として、限られた範囲で使用されている無線です。

〈署活系無線〉

パトロール中の警察官が警察本部や他の警察官との連絡用として使われる無線が署活系無線です。

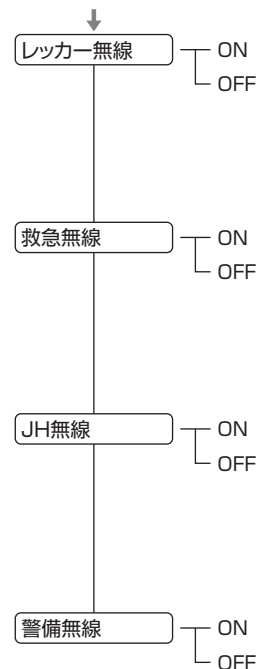
〈消防無線〉

災害・救助活動で使用する消防用署活系無線(携帯用400MHz帯)です。

〈消防ヘリテレ無線〉

ヘリコプターを使った火事の事故処理、または火事現場との連絡用として使われる無線が消防ヘリテレ無線です。

- 一部地域や一部ヘリコプターで、消防ヘリテレ無線が装備されていない場合や使用されていない場合は受信できないことがあります。



〈レッカー無線〉

主に関東／東海／阪神の一部地域で、レッカー業者が駐車違反や事故処理のときに、連絡用として簡易業務用無線を使用しています。このため他の簡易業務用無線を受信しても、レッカー無線警報をすることがあります。あらかじめご了承ください。

〈新救急無線〉

救急車と消防本部の連絡用として使われる無線のうち、首都圏の特定の地域で使われているのが新救急無線です。
あらかじめ受信察知することにより、救急車の通行の妨げにならないようにするためのものです。

〈JH無線(日本道路公団無線)〉

JH(日本道路公団)の業務連絡用無線で、主に渋滞や工事・事故情報等でパトロール車輛と本部との連絡に使用されている無線です。

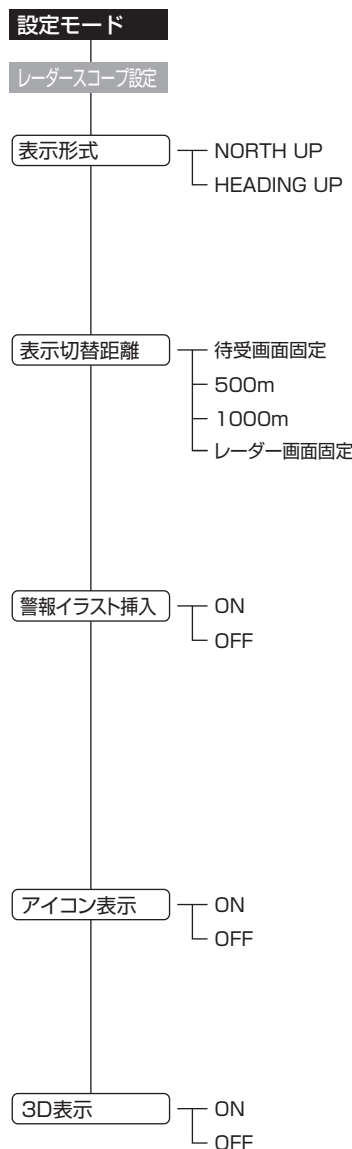
- JH(日本道路公団)は民営化により、NEXCO東日本、NEXCO中日本、NEXCO西日本になりました。

〈警備無線〉

主に警備会社が使用する無線です。

「レーダースコープ設定」の設定項目について

※詳しい操作方法は「各種設定のしかた」(☛ 41 ページ)をご覧ください。



◎ モードボタンを長押し(約1秒)する

「レーダースコープ設定」を選択する

〈表示形式〉

レーダースコープ画面の向きをNORTH UP(常に北が上になるような表示)とHEADING UP(常に車の進行方向が上になるような表示)に切替えることができます。

- 初期値は「HEADING UP」に設定されています。

〈表示切替距離〉

待受画面からレーダースコープ画面に切替わる距離を選択できます。

- 待受画面固定を選択した場合、待受画面のままレーダースコープ画面に切り替わりません。
- 初期値は「1000m」に設定されています。
- レーダー画面固定を選択した場合は、常にレーダースコープ画面を表示します。

〈警報イラスト挿入〉

「警報イラスト挿入」のON/OFFができます。

- 「ON」にすると警報時にレーダースコープ画面の左側に警報イラストを表示します。
- 「OFF」にすると警報時にイラストを表示しません。
- 表示切替距離で「待受画面固定」を選択し、警報イラスト挿入「OFF」にすると、警報時は待受画面のままアイコン部のみ警報表示します。
- 初期値は「ON」に設定されています。

〈アイコン表示〉

「警報対象アイコン表示」のON/OFFができます。

- レーダースコープ画面でフォーカスターゲット以外のターゲットのアイコン表示を切替えることができます。
- 初期値は「OFF」に設定されています。

〈3D表示〉

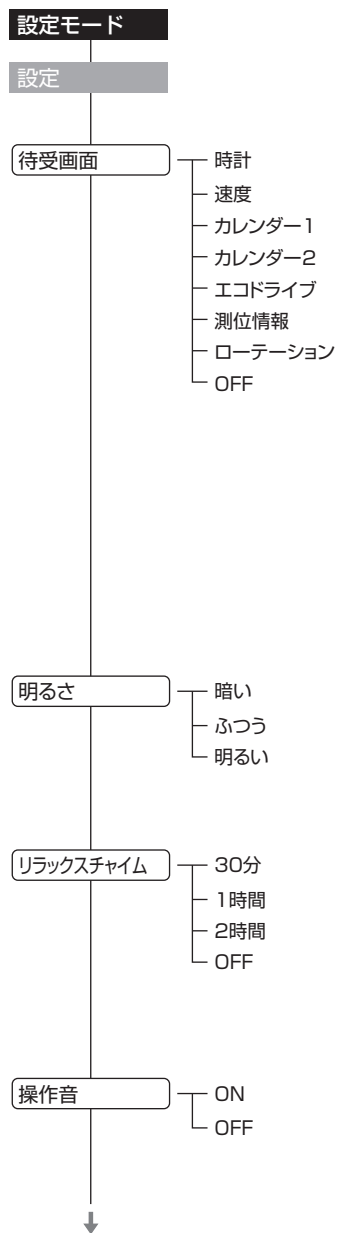
「レーダースコープ画面の3D表示」をON/OFFします。

- 初期値は「ON」に設定されています。

「設定」の各項目について

つづく

※詳しい操作方法は「各種設定のしかた」(☛ 41 ページ)をご覧ください。



◎ モードボタンを長押し(約1秒)する

「設定」を選択する

〈待受画面〉

待受時の表示画面を「時計」「速度」「カレンダー1」「カレンダー2」「エコドライブ」「測位情報」「ローテーション」「OFF」の中から選択することができます。

- 日付および時間は、GPS測位により自動的に設定され、日付や時間合わせの操作は不要です。(測位状況により日付や時間が合わないことがあります。)
- 測位情報は衛星数、衛星ナンバー、受信レベルを表示します。
- ローテーションは「時計」「速度」「カレンダー1」「カレンダー2」「エコドライブ」「測位情報」が1分間隔で切替ります。
- 「OFF」に設定すると待受画面は表示されません。
- 表示切替距離(☛ 58 ページ)の設定で、「レーダー画面固定」を選択すると、常にレーダースコープ画面を表示します。
- 初期値は「時計」に設定されています。

※ 走行速度や進行角度、距離などの表示は、GPS測位状況によって、実際とは大きく異なる場合がありますので、目安程度にお考えください。

〈明るさ〉

液晶表示の明るさを「暗い」「ふつう」「明るい」の3段階で切替えることができます。

- 初期値は「ふつう」に設定されています。

〈リラックスチャイム〉

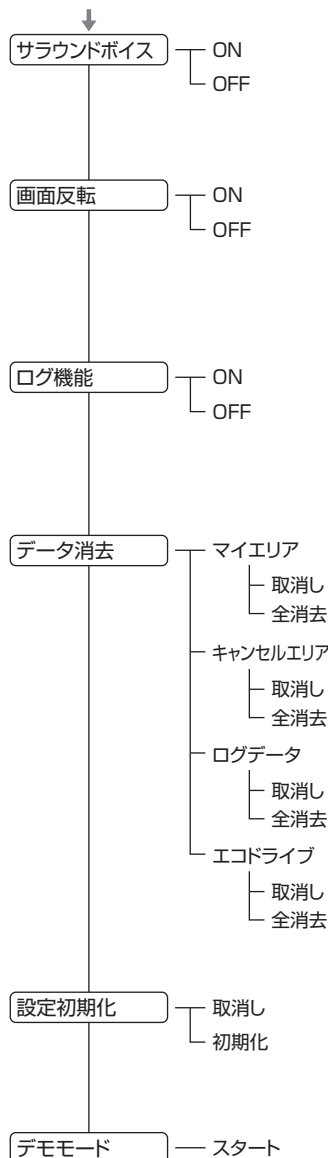
安全運転をしていただくために、休憩を促す機能です。電源ON後、設定時間が経過するたびに「ピポパポーン 長時間運転しています 休憩しませんか?」とお知らせします。

- 「30分」「1時間」「2時間」「OFF」の中から選択できます。
- 初期値は「2時間」に設定されています。

〈操作音〉

リモコン操作時の確認音を「ON」か「OFF」に設定できます。

- 「OFF」に設定するとリモコン操作時の確認音が出ません。
- 初期値は「ON」に設定されています。



〈サラウンドボイス〉

「ON」に設定すると、臨場感のあるボイスでお知らせします。
 ・初期値は「ON」に設定されています。

〈画面反転〉

液晶表示画面の上下を反転させることができます。
 ・「ON」に設定すると画面が反転します。
 ・初期値は「OFF」に設定されています。

〈ログ機能〉

「ON」に設定すると、約12時間分の走行データを記録することができます。(● 72ページ)
 ・初期値は「OFF」に設定されています。

〈データ消去〉

「マイエリア」「キャンセルエリア(インテリジェントキャンセル・マイキャンセル)」「ログデータ」「エコドライブ」のデータをすべて消去することができます。
 ・消去したい項目(マイエリア、キャンセルエリア、ログデータ、エコドライブ)を選び、「全消去」を選択・決定するとデータが消去されます。
 ・いったん消去すると、元に戻せませんのでご注意ください。
 ・本機に登録されているオービス等のGPSデータが消去されることはありません。

〈設定初期化〉

「初期化」を選択・決定すると、すべての設定項目をお買い上げ時の状態にリセットします。

〈デモモード〉

レーダー受信やGPS警報などの音声や画面表示を実演できます。
 ・スタートを選択するとデモモードが始まります。
 ・デモモード中にリモコン操作するとデモモードは終了します。



ity.クラブ

GPSデータ更新

年会費プランⅡ

【SDカードダイレクト方式】

年会費 ¥5,250(税込) 入会金 ¥2,100(税込)

パソコンやFOMAで、GPSデータ更新ができます。
 更新のためにレーダー探知機を預けずに済むので、毎日お使いの方にも安心です。

※FOMAは、NTT DoCoMoの携帯電話です。

GPSデータを更新しよう！

ity.クラブの専用サイトにアクセスし、GPSデータをダウンロード、SDカードに保存してレーダー探知機に転送。

●更新できるGPSデータは・・・

データ名称	データの内容
オービスデータ	ループコイル、LHシステム、新Hシステム、レーダー式オービス、トンネル出口ターゲット、トンネル内オービス、Nシステム、交通監視システム、オービスカメラ位置、オービス制限速度、検問エリア、取締エリア
コンテンツデータ①	警察署、交差点監視ポイント、事故多発エリア、道の駅、信号無視抑止システム、サービスエリア、パーキングエリア、ハイウェイオアシス、ハイウェイラジオ受信エリア
コンテンツデータ②	高速道制限速度切替りポイント
コンテンツデータ③	駐禁監視エリア(最重点地域、重点地域)、駐車場(駐禁最重点エリア内)

使用できるSDカード

●使用できるSDカードは、次の3種類です。



- ・容量は、2GB以下のものをご使用ください。
- ・SDカードは、本機専用でご使用ください。
- ・miniSDカード、microSDカードをご使用になる場合は、SDカード変換アダプターが必要となります

お申し込み方法

- パソコンで <http://yupiteru.co.jp/ityclub/index.html>
- FOMAで <http://www.yupiteru.co.jp/i/>に接続して、手順に従ってお申し込みしてください。



お支払い方法

- クレジットカード
取り扱いカード: JCB、MASTER、UFJ、VISA、NICOS、AMEX
※メールにてのご案内となります。
※お客様にはメールの案内に従ってお支払いをしていただきます。
- コンビニエンスストア
利用可能なコンビニ: セブンイレブン、サークルKサンクス、ローソン、ファミリーマート、セイコーマート
※メールにてのご案内となります。
- 銀行振込(ネットバンク以外)
※振込手数料はお客様のご負担になります。
※お支払いにつきましてはお申し込み確認後、メールにてご案内を差し上げます。
- ネットバンク
ご利用可能なネットバンク: ジャパンネット銀行、イーバンク銀行、みずほ銀行、三菱東京UFJダイレクト
※メールにてのご案内となります。
※振込手数料はお客様のご負担になります。

料金

年会費プランⅡ(SDカードダイレクト方式)

初年度 入会金 **2,100**円(税込) + 年会費 **5,250**円(税込) 合計 **7,350**円(税込)

2年目以降 年会費 **5,250**円(税込) 2契約目以降 年会費 **5,250**円(税込)

※ご登録リーダー探知機は、一契約につき一台の登録となります。

ity. クラブ年会費プランⅡ申込み問い合わせ
株式会社ユピテル ity. クラブ窓口
受付時間 10:00~18:00月曜日~金曜日
(祝祭日、年末年始等、当社指定期間を除く)

TEL.054-283-5792
e-mail:ity@yupiteru.co.jp
ity.クラブホームページアドレス
<http://www.yupiteru.co.jp/ityclub/index.html>

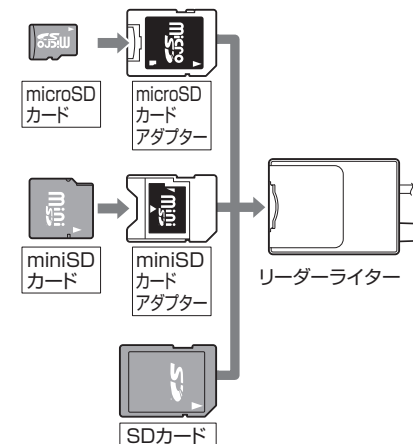
パソコンでダウンロードする場合

準備する

- インターネットが利用できる環境のパソコン
下記以外のOSについての動作は保証されません。
【対応OS】
・ Microsoft Windows 2000
・ Microsoft Windows XP
・ Microsoft Windows Vista
※64bit版は除きます。
- 市販のSDカード/miniSDカード/microSDカードのいずれかのメモリーカード(以降SDカード)で、容量が2GB以下のもの
・ miniSDカードか、microSDカード使用の場合は、SDカード変換アダプターが必要となります。
- 市販のSDカードリーダーライター
・ 使用するSDカードの容量に対応したリーダーライターをご用意ください。
・ SDメモリーカードスロットを備えたパソコンの場合は必要ありません。
(使用するSDカードの容量に対応している場合)

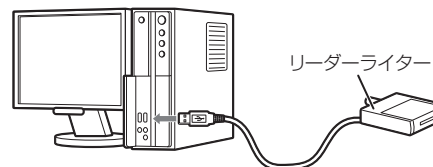
- ② SDカードをSDカードリーダーライターに接続する。

- ・ miniSDカードかmicroSDカード使用の場合は、SDカードアダプターに取り付けたあと、パソコンかSDカードリーダーライターに接続してください。



パソコンとSDカードを接続する

- ① SDカードリーダーライターをパソコンに接続する。
・ SDカードを直接接続できるパソコンの場合は、SDカードリーダーライターを接続する必要はありません。



ダウンロードする

- ① ity. クラブの専用サイト(<http://www.yupiteru-ity.com/pc/>)にアクセスする。
- ② ID・パスワードを入力し、「ログイン」を選択する。
・ ID・パスワードは ity.クラブ入会後に連絡されます。
- ③ 「ダウンロードデータ選択へ」を選択する。
- ④ 登録機種を確認する。
・ 登録機種がご使用のリーダー探知機と異なる場合は、お手数ですが ity.クラブ窓口(☎ 62ページ)までご連絡ください。
- ⑤ 更新データ(オービスデータやコンテンツデータ)を選択し、ダウンロードする。
・ 更新データは、複数同時にダウンロードできません。それぞれ1回ごとに選択し、ダウンロードしてください。
- ⑥ 更新データをSDカードに保存する。
・ ダウンロードしたオービスデータやコンテンツデータを、個別に保存する必要はありません。

FOMA でダウンロードする場合

準備する

- FOMAで受信メールをminiSDカード/microSDカードに保存できる機種。
最新対応機種や詳細については、下記URLにアクセスして確認できます。
<http://www.yupiteru.co.jp/ity2>
- FOMAは、NTT DoCoMoの携帯電話です。
- 市販のminiSDカード/microSDカードのいずれかのメモリーカードで、容量が2GB以下のもの。(SDカードアダプターが必要となります。)

ダウンロードする

- ① FOMAにminiSDカード/microSDカードを取り付ける。
 - ・詳しくは、携帯電話の取扱説明書をご参照ください。
 - ・miniSDカードを使用する携帯電話(FOMA)の場合、miniSDカードに変換するアダプターが必要です。
- ② miniSDカード/microSDカードをフォーマット(初期化)する。
 - ・フォーマットのしかたは、携帯電話により異なります。携帯電話の取扱説明書の【外部メモリーをフォーマットする】などをご参照ください。
 - ・フォーマットは必ずご利用になる携帯電話で行ってください。
 - ・パソコンなど他機器でフォーマットしたmicroSDカードは正常に使用できない場合があります。
 - ・フォーマットを行うと、miniSDカード/microSDカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

- ③ インターネットでホームページ。
<http://www.yupiteru-ity.com/>
に接続する。



※ [http://] は自動的に挿入されます。
※ このホームページ・アドレスを登録しておく、次回から簡単な操作でホームページを表示できます。

- ・接続のしかたは、携帯電話により異なります。携帯電話の取扱説明書の【Internet】などをご参照ください。
- ・バーコードリーダー機能付きの携帯電話の場合、上のQRコードを読み取ると、ホームページを表示できます。
携帯電話の取扱説明書の【バーコードリーダー】などをご参照ください。

- ④ ID・パスワードを入力し、「ログイン」を選択する。

- ・必ず半角数字で入力してください。
※ ID・パスワードは **ity** クラブ入会後に連絡されます。

- ⑤ 「ダウンロードデータ選択へ」を選択する。

- ⑥ 登録機種を確認する。

- ・登録機種がご使用のレーダー探知機と異なる場合は、お手数ですが **ity** クラブ窓口(☎ 62ページ)までご連絡ください。

- ⑦ 更新データ(オービスデータやコンテンツデータ)を選択し、ダウンロードする。

- ・更新データは、複数同時にダウンロードできません。オービスデータを選択、ダウンロードしレーダー探知機にてデータ更新後、コンテンツデータを選択、ダウンロードしてください。

- ⑧ 「メールを送信しました」と表示後、しばらくすると、携帯電話がメールを受信します。

- ・クラブに登録していないメールアドレスには、メールは届きません。
- ・ドメイン指定受信(迷惑メール対応)されている場合は、メールが届かないことがあります。指定受信[its21.co.jp]を追加してください。

<メールが3分割の場合>

- ・ 題名 1/23 datasend
00011080_1
- ・ 題名 1/23 datasend
00011080_2
- ・ 題名 1/23 datasend
00011080_3

※ 更新データの容量によって、分割されるメールの数が違います。

- ⑨ 受信メールをminiSDカード/microSDカードにコピーする。(エクスポート)

<メールが3分割の場合>

- ・ 題名 1/23 datasend
00011080_1
- ・ 題名 1/23 datasend
00011080_2
- ・ 題名 1/23 datasend
00011080_3

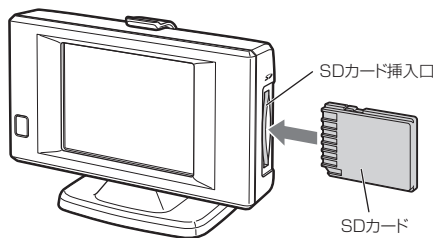
を、miniSDカード、microSDカードに1件ずつコピーしてください。

- ・コピーのしかたは、携帯電話により異なります。携帯電話の取扱説明書の【外部メモリーにコピーする】などをご参照ください。
- ・受信メールは、必ず全数コピーしてください。また一括コピーすると、レーダーのデータ更新ができません。
- ・「オービスデータ」、「コンテンツデータ」の複数のデータは個別にコピーし、個別にレーダーのデータ更新を行ってください。

携帯電話の通信料はお客様のご負担となりますので、あらかじめご了承ください。

レーダー探知機のGPSデータを更新する

- ① レーダー探知機の電源を入れる。
- ② レーダー探知機にSDカードを接続し、データ更新する。
 - ・SDカードの端子を手前左側に向け、『カチッ』と音がするまで差し込んでください。
 - ・更新データを保存したSDカードをレーダー探知機に接続すると、『ピポッ』と音が鳴り、液晶表示が更新画面に変わり、更新を開始します。更新が終了すると、『転送が終了しました』と音声が出ます。
 - ・miniSDカードかmicroSDカード使用の場合は、SDカードアダプターに取り付け後、レーダー探知機に接続してください。
- ③ 更新終了後にSDカードを取り外す。
 - ・指で軽く押し込み、指を離すとSDカードが少し出てきますので、ゆっくりと引き抜いてください。
 - ・SDカードは、必ず取り外してご使用ください。(接続したままでは、レーダー探知機を使用できません。)
 - ・SDカードの接続や取り外しは、無理に差し込んだり引き抜かないでください。
 - ・データ更新中は、絶対にSDカードを抜かないでください。
 - ・SDカードを接続したままの状態や、半分挿入した状態でご使用にならないでください。
 - ・SDカードを取り外したあとは、各SDカードの説明書の指示に従って大切に保管してください。



お預かり更新サービス(送料別・税込¥5,250)
をご要望される場合は、最寄りの弊社営業所・サービス部にご相談ください。

機能／特徴

● 今すぐ地図表示サービス(☛ 68ページ)

レーダー探知機に表示させたQRコードをバーコードリーダー機能付き携帯電話で読み取ると、携帯電話に周辺の地図や観光・レジャー・グルメ・ホテル・温泉などのエンターテインメント情報を表示します。また、周辺の駐車場も一覧表示。「e燃費」「ぐるなび」にもリンク！

- ・通信料は有料ですので、お客様のご負担となります。
- ・バーコードリーダー機能付き携帯電話で、インターネットを利用できる環境であることが条件となります。
- ・一部の携帯電話では、地図データを表示できない場合があります。

● 地図閲覧サービス(☛ 69～71ページ)

携帯電話やパソコンで専用サイトにアクセスし、緯度・経度や郵便番号、住所を入力すると、周辺の地図や観光・レジャー・グルメ・ホテル・温泉などのエンターテインメント情報を表示します。また、周辺の駐車場も一覧表示。「e燃費」「ぐるなび」にもリンク！

- ・通信料は有料ですので、お客様のご負担となります。
- ・インターネットを利用できる環境であることが条件となります。
- ・一部の携帯電話では、地図データを表示できない場合があります。

● ログ機能(☛ 72ページ)

レーダー探知機本体に記録した走行データをSDカードにコピーし、パソコンで走行軌跡を表示させることができます。

※ 今すぐ地図表示サービスで使用している地図の著作権は、株式会社昭文社に帰属されます。
地図データの編集・加工による二次使用は、禁じております。

今すぐ地図表示サービス

- ① リモコンのファンクションボタンを長押し(約1秒)してQRコードを表示させる。
- ② バーコードリーダー機能付き携帯電話でQRコードを読み取り送信する。

表示/編集画面

YUPITERU
緯度: 35° 38' 13"
経度: 139° 45' 8"
東京都中央区銀座4丁目付近です。

1...現在位置
2...駐車場マーク(数字は近い順)

500[m]
提供: 昭文社

駐車場非表示

「ここにいます!!」メール

件名:
ここにいます!!メール
コメント:

送信先:

送信元:
ity@yupiteru.co.jp
※メールは上記のアドレスで送信されます。

周辺地図表示画面
【駐車場表示】
デフォルトで周辺の駐車場マークが現在位置の近い順で表示。

このボタンを押すことに、駐車場マークが表示/非表示します。

ここにいます!!メール画面
送信先の入力方法は、手入力以外に携帯電話の機能やメニューを使って電話帳に登録してあるメールアドレスを貼り付けることができます。

他社コンテンツリンク

- ・e燃費
最寄りのガソリンスタンドの価格を検索できます。
- ・ぐるなび
現地周辺のグルメ情報を検索できます。

周辺施設検索画面

周辺施設検索

e燃費
最寄りのガソリンスタンドの価格を検索する

ぐるなび
グルメ情報を検索する

⇒駅・インターチェンジ
⇒レジャー施設
⇒公共施設
⇒学校検索
⇒観光(見る)
⇒レジャー(遊ぶ)
⇒グルメ(食べる)
⇒ショッピング
⇒ホテル(泊まる)
⇒温泉
⇒イベント

地図画面のスクロール操作画面

数字キーで画面スクロールが出来ます。
(例)地図を右に移動したい場合数字キーの6を押す。

1 2 3
4 6
7 8 9
0

500m
縮尺変更

2006 YUPITERU CO., LTD

（株）昭文社提供地図配信サービスにより送信先にメールで地図配信URLが送信されます。相手方は受信メールのURLをクリックすると地図が配信されます。

地図閲覧サービス

携帯電話専用サイト

<http://www.yupiteru-itymap.com/i/>



地図検索画面

YUPITERU
緯度: 35° 38' 13"
経度: 139° 45' 8"
東京都中央区銀座4丁目付近です。

1...現在位置
2...駐車場マーク(数字は近い順)

500[m]
提供: 昭文社

駐車場非表示

「ここにいます!!」メール

件名:
ここにいます!!メール
コメント:

送信先:

送信元:
ity@yupiteru.co.jp
※メールは上記のアドレスで送信されます。

周辺地図表示画面
【駐車場表示】
デフォルトで周辺の駐車場マークが現在位置の近い順で表示。

このボタンを押すことに、駐車場マークが表示/非表示します。

ここにいます!!メール画面
送信先の入力方法は、手入力以外に携帯電話の機能やメニューを使って電話帳に登録してあるメールアドレスを貼り付けることができます。

【緯度・経度について】
レーザー探知機に緯度・経度を表示させることができます。

必ず、車を止めてから操作してください。

●ファンクションボタンを長押し(約1秒)します。

- ・本体表示部に緯度(N)・経度(E)が約1分間表示されます。
- ・表示中は、移動しても緯度・経度表示は変わりません。
- ・GPS非測位の場合は、緯度・経度表示できません。
- ・戻るときは、再度、ファンクションボタンを長押し(約1秒)してください。

地図検索画面

地図表示したい場所の緯度と経度を入力してください。

緯度:
経度:

(入力例)
139° 45' 19" 2" の場合
1390519.2 と入力してください。

検索

郵便番号検索

郵便番号:
検索

住所検索

北海道
検索しない都道府県を選択してください

検索

メールで位置情報を受信した場合は、その内容をコピーした下のボックスにペースト(貼り付け)してください。

検索

2006 YUPITERU CO., LTD

（株）昭文社提供地図配信サービスにより送信先にメールで地図配信URLが送信されます。相手方は受信メールのURLをクリックすると地図が配信されます。

PC専用サイト

http://www.yupiteru-itymap.com/pc/

表示画面

The screenshot shows the YUPITERU website interface. At the top, there's a header with the YUPITERU logo and a tagline. Below it, a navigation bar includes a search bar, a map view toggle, and a scale bar. The main content area features a large map of Tokyo with various landmarks labeled. To the right of the map, there are several service buttons: '住所検索' (Address Search), '郵便番号検索' (Postal Code Search), '最寄りのガソリンスタンド' (Nearest Gas Station), 'グルメ情報' (Gourmet Information), '周辺検索' (Surrounding Search), 'e燃費' (eFuel), 'ユピテル新製品紹介' (Yupiteru New Product Introduction), and '「ここにいます!!」mail' (I'm here!! mail). At the bottom, there are seasonal feature banners for camping, BBQ, hot springs, fireworks, and swimming.

●緯度経度入力検索

地図表示したい場所の緯度と経度を入力して **表示** ボタンをクリックします。
(入力例) 139°5'19.2秒の場合
1390519.2と入力する。

●住所／郵便番号検索

●駐車場表示

周辺の駐車場マークを表示/非表示できます。

●他社コンテンツリンク

●e燃費
最寄りのガソリンスタンドの価格を検索できます。
●ぐるなび
現在地周辺のグルメ情報を検索できます。

●ユピテル新製品紹介バナー

クリックすると、ユピテルホームページの製品専用コーナーに移ります。

●「ここにいます!!」mail

表示地図を送り先の携帯電話やパソコンにメールで送ることができます。

●季節特集

年間を通じて季節にあわせた特集を企画し、それぞれのシーズン前に新鮮な情報を提供します。

●周辺施設検索

1. 周辺範囲(1km/3km/5km)を選択して検索項目をクリックします。
2. 検索施設を選択すると施設のマークが表示されます。

<施設内容>

- 駅・インターチェンジ
- レジャー施設
寺社/スタジアム/競馬場等
- 公共施設
官公署等
- 学校
- 病院
- 銀行
- 観光(見る)
文化施設/史跡等
- レジャー(遊ぶ)
アミューズメント/遊園地/キャンプ場等
- グルメ(食べる)
レストラン/食堂/ラーメン屋/ソバ屋等
- ショッピング
- 複合ショッピング施設
- ホテル(泊まる)
ホテル/旅館/民宿等
- サービス
- 温泉
日帰り入浴温泉
- イベント
カーニバル/祭り/催し物会場等

<ロードサイドデータ>

- ロードサイド郊外店
ファミリーレストラン/ファーストフード/コンビニ/スーパー/ホームセンター/ドラッグストア等

<特集内容>

- 春……花見名所
- 夏……海水浴/キャンプ場/花火大会
- 秋……紅葉名所/秋の味覚狩り
- 冬……イルミネーション/初詣

ログ機能【特許出願中】

ログ機能をONに設定すると、走行データ(最大約12時間分)を本体に記録します。

記録したデータは、SDカードにコピーし、パソコンで走行軌跡を確認することができます

パソコンで走行軌跡を確認するには以下の環境や条件が必要になります。

※下記以外のパソコン環境や地図ソフト、市販のデータロガーでの動作確認は行っておりません。

※走行軌跡はパソコン上の地図や地形とずれることがあります。

① 下記の条件を満たしたインターネットに接続可能なパソコン。

- OS : Windows 2000 Professional、Windows XP Professional、Windows XP HomeEdition、Windows Vista
※64bit版を除く
- NET Framework2.0以上がインストールされていること。NET Framework2.0がインストールされていない場合は、Microsoft社のホームページよりダウンロードしてください。

② ご用意いただくもの。

- 市販のSDカード/miniSDカード/microSDカードのいずれかのメモリーカード(以降SDカード)で、容量が2GB以下のもの(miniSDカードか、microSDカード使用の場合は、SDカード変換アダプターが必要となります)。
- 市販のSDカードリーダーライター
※SDメモリーカードスロットを備えたパソコンの場合は、必要ありません。
※使用するSDカードの容量に対応していることをご確認ください。
- GoogleよりGoogle Earthをダウンロードしてください。
- 弊社ホームページ(<http://www.yupiteru.co.jp>)をご参照の上、オリジナルログデータ変換ソフト(YP_LogDataConvert.exe)をダウンロードしてください。

1. ログ機能をONにする

ログ機能をONに設定(● 60ページ)すると走行データが記録されます。

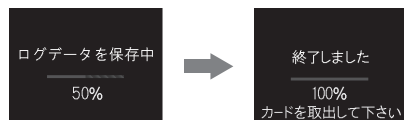
- 非測位時、時速10km未満の場合は記録されません。
- 走行データは、待受画面のアイコン表示部にパーセント表示されます。

50%

- 記録容量が100%になった場合は、自動的にログ機能をOFFにし、100%の表示を残します。
- 記録容量が100%になっている場合は、ログ機能をONにすることはできません。
- ログ機能ON中は常に走行データを記録します。日時別の保存や管理は行っておりません。
- 記録容量が100%になり、ログ機能がOFFになっても、データ消去(● 60ページ)を行うまで、100%の表示は残ります。
- 走行記録を消去する場合は、データ消去(● 60ページ)を行ってください。また必要に応じ、事前に下記の手順でSDカードにコピーを行ってください。

2. 走行データをSDカードにコピーする

本機のSDカード挿入口にSDカードを挿入すると、自動的に記録している走行データがコピーされます。



- SDカードへコピーを行ったあとも、走行データを記憶しています。走行データを消去する場合は、設定メニューより、ログデータの消去(全消去)を行ってください。(● 60ページ)
- SDカードにダウンロード用データが保存されている場合、走行データのコピーは行われません。

3. パソコンで走行軌跡を確認する

- ① 走行データをコピーしたSDカードをパソコンに接続します。
- ② YP_LogDataConvert.exe(ユピテル ログデータコンバート)を起動させます。パソコン画面上の「開く」ボタンをクリックし、SDカードの走行データ(*.Log)を選択します。
- ③ 「変換」ボタンをクリックし、お好みのファイル名と保存先を指定し、保存します。
- ④ 保存したファイルを開くと、Google Earthの画面上に走行軌跡が表示されます。

※ 走行軌跡はパソコン上の地図や地形と必ずしも一致しません。ずれて表示されることがありますのでご了承ください。

取締りのミニ知識

本機と、取締りの方法や種類をよくつかんで、上手にご使用ください。制限速度を守り、安全運転を心がけることが大切です。

スピード違反の取締り方法

大きく分けて3つの方法があります。

1. レーダー波を使って算出する方法(レーダー方式)

取締りレーダー波を対象の車に向けて発射し、その反射波の周波数変化(ドップラー効果)で速度を算出します。

- 現在、スピード違反の取締りには、この方法が多く採用されています。この方法は、歴史も古く、種類、台数が多いことから、今後も取締りの主流であると思われます。



2. 距離と時間で算出する方法(ループコイル式・LHシステム)

一定区間を通過するのにかかる時間から速度を算出します。測定区間の始めと終わりに設置するセンサーには、赤外線や磁気スイッチなどが使われています。

- この方式は取締りレーダー波を発射しておりませんので、従来のレーダー受信機能では、検知できませんが、GPS測位機能により、警報することができます。

3. 追走して測定する方法(追尾方式)

指針を固定できるスピードメーターを搭載している白バイやパトカーで、対象の車を追走して速度を測ります。

- 本機は取締りレーダー波を発射しているものについては後方受信します。

取締りレーダー波について

取締りレーダー波は、発射するときの角度や装置の種類によって性質が異なります。

定置式

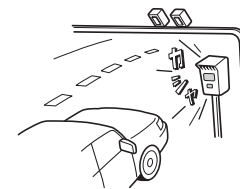
人が測定装置を道路際に設置して行います。

取締りレーダー波は、直進性が強いいため、発射角度が浅いほど、探知しやすくなります。



自動速度取締り機(新システム、レーダー式オービス)

速度の測定と証拠写真の撮影を自動的に行います。



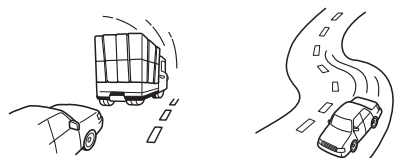
移動式

測定装置をパトカーに搭載して、移動しながら測定を行います。

取締りレーダー波を受信しにくい場合

取締りレーダー波の発射方法や周囲の環境、条件などにより、取締りレーダー波を受信しにくいことがあります。

- 前に走行している車(とくに大型車)がある場合や、コーナー、坂道では、電波が遮断され、探知距離が短くなることがあります。スピードの出やすい下り坂では、とくにご注意ください。



〔前に走行中の車がある場合〕

〔コーナー〕



〔下り坂〕

- 対象の車が近くに来るまで、取締りレーダー波を発射しない狙い撃ち的な取締りができるステルス型のスピード測定装置があります。

電波式の自動ドアや、信号機の近くに設置されている車輛通過計測機などは、取締りレーダー波と同じ電波を使用しているため、反応するのは避けられません。『いつも鳴るから』と安心せずに注意してください。

仕様

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

電源電圧	: DC 12 V (マイナスアース車専用)	動作温度範囲	: -20℃～+85℃ (GPS部: -20℃～+80℃) (UHF/VHF部: -10℃～+60℃)
消費電流	: 待機時: 140mA以下 (UHF/VHF部 OFF時) 最大: 310mA以下	外形寸法	: [表示部付き本体] 91(W)×51(H)×18(D)mm (突起部除く) [アンテナ部] 61(W)×21(H)×49(D)mm [リモコン] 34(W)×70(H)×16(D)mm (突起部除く)
受信方式	: [GPS部] 16チャンネル/パラレル受信方式 [レーダー部] スイープオシレーター式ダブルスーパーヘテロダイン方式	重量	: [表示部付き本体] 83g(接続ケーブル含む) [アンテナ部] 106g(接続ケーブル含む) [リモコン] 19g(電池含む)
表示部	: フルカラーIPS液晶ディスプレイ		
受信周波数	: [GPS部] 1.6GHz帯 [レーダー部] Xバンド/Kバンド [UHF部] 336～470MHz帯 [VHF部] 154～163MHz帯		

※ この説明書に記載されている各種名称・会社名・商品名などは各社の商標または登録商標です。
なお、本文中ではTM、® マークは明記していません。

故障かな？と思ったら

修理をご依頼になる前に、もう1度次のことをご確認ください。それでも異常や故障と思われるときは、お買い上げの販売店、または弊社営業所・サービス部にご相談ください。

症 状	チェック項目
電源が入らない	- 電源スイッチがONになっていますか。(➡ 16ページ) - シガープラグコードがはずれていませんか。 - シガーライターソケットの内部が汚れて、接触不良を起こしていませんか。シガープラグを2、3回左右にひねりながら差し込み直してください。 - シガープラグ内部のヒューズが切れていないか確認してください。切れている場合は、同じ容量(1A)の新しいヒューズと交換してください。
エンジンを止めて、イグニッションキーを抜いても電源が切れない	シガーライターソケットの電源が、エンジンの始動/停止と連動して入/切しない車があります。このような車では、エンジンを止めても、シガーライターソケットに電源が供給されますので、シガープラグの電源スイッチで電源を切ってください。
反応しない レーダー警報しない	- 電源が入っていましたか。液晶表示を確認してください。(➡ 16ページ) - 警報機能が正しく働きますか。テスト&ミュートボタンを押して確認してください。(➡ 7ページ) - 取締りレーダー波が発射されていましたか。計測する瞬間だけ電波を発射するステルス型など、取締り準備中あるいは終了後などで、スピード測定装置から取締りレーダー波が発射されていないことがあります。 - 取締りが「レーダー方式」で行われていませんか。 - マイキャンセル登録したエリアではありませんでしたか。(➡ 33ページ) - インテリジェントキャンセルされていませんか。キャンセル中は液晶で表示します。 - AACシステムがONで、時速30km以下のときは警報しません。(➡ 45ページ) 「マナーモード」になっていませんか。Ⓜアップボタンを押して解除してください。
GPS警報しない	- GPS測位していましたか。(➡ 26ページ) - 新たに設置されたオービスなどのターゲットではありませんか。
取締りもしていないのに警報機能が働く	- 取締りレーダー波と同じ電波が他でも使用されています。それらの電波を受信すると警報機能が働くことがありますが、故障ではありませんので、ご了承ください。 ——取締りレーダー波と同じ電波を使用している主な機器—— - 電波式の自動ドア、防犯センサー／信号機の近くに設置されている車輛通過計測機／NTTのマイクロウェーブ通信回線の一部／気象用レーダー、航空レーダーの一部／他のレーダー探知機の一部 - まれに他の無線機の影響を受けることがあります。その場合は取り付け位置を変えてみてください。

症 状	チェック項目
警報の途中で警報音が小さくなる	レーダー波の受信が約30秒以上続くと、警報音が小さくなります。(オートクワイアット)
一般道を走行中に高速道のターゲットをGPS警報する	「道路選択」の設定(➡ 48ページ)を「全て」でご使用の際は、一般道と高速道の両方のターゲットを警報します。
ひんぱんに無線警報する	放送局や無線中継局、携帯電話の基地局などが近くにある場合、強い電波の影響や周囲の状況により、受信状態になることがあります。また、取り付けた車やカーナビの画面、カーオーディオなどから強い電波が放射している場合があります。
取 締 り 現 場 な の に 350.1MHzを受信しない	「取締無線」を「ON」に設定していましたか。(➡ 55ページ) - 取締り現場での連絡が無線方式で行われていましたか。連絡には350.1MHzの電波を使った無線方式の他に、有線方式の場合もあります。
誤警報がキャンセルされない	「インテリジェントキャンセル」の設定は「ON」になっていましたか。(➡ 46ページ) - GPS測位していましたか。(➡ 26ページ) - 新Hシステムやレーダー式オービスが近くにありませんでしたか。 - 取締エリア、またはマイエリア登録したエリアではありませんか。
リモコンで操作できない	- リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。(➡ 15ページ) - リモコンの赤外線が遮られていませんか。 - 本体の赤外線受光部に太陽光が直接入射していると、操作距離が短くなる場合があります。
何も表示しない	「マナーモード」になっていませんか。Ⓜアップボタンを押して解除してください。

